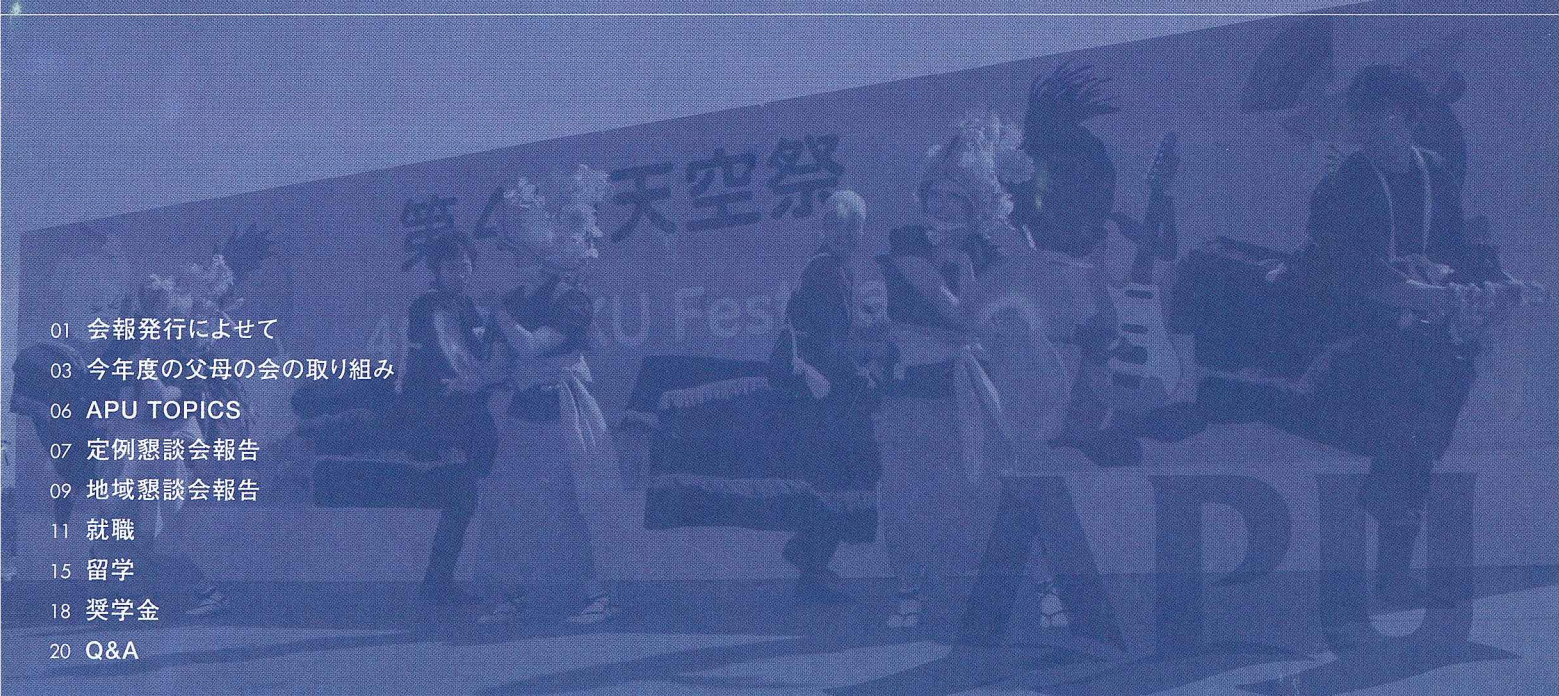


APU-Club

# 国内学生父母の会だより



- 01 会報発行によせて
- 03 今年度の父母の会の取り組み
- 06 APU TOPICS
- 07 定例懇談会報告
- 09 地域懇談会報告
- 11 就職
- 15 留学
- 18 奨学金
- 20 Q&A







APU-Club・国内学生父母の会 会長

**工藤 高史** Takashi Kudo

「APU-Club・国内学生父母の会」会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃の皆様のご支援に対して心よりお礼申し上げますとともに、会報の発行にあたって一言ご挨拶申し上げます。

今年度は全国7ヵ所で地域懇談会が開催され、延べ615名が参加されました。学生数の増加率以上に父母の皆様の参加率が飛躍的に伸びており\*、父母の会および大学への関心が高まっている一つの表れと拝察するところです。懇談会では父母同士そして父母と大学の意見交換が図られるとともに、お子様の学業履修状況や成績表の見方、学生生活、また就職対策などの説明が行われ、極めて有意義な会合であったと存じます。

また、設立から5年目を迎えた今年度の父母の会は、

\*地域懇談会参加者数・・・2004年度:7会場392名、2005年度:5会場352名

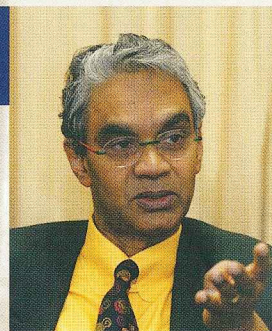
学修面を中心に、学生一人ひとりへの支援の充実に図りました。今年度、新たに立命館大学の夏セッション参加者への補助、アクティブラーニング（現地参加型学習）で海外へ派遣される学生への支援など、学生の学習意欲を更に高め、励みとなる事業を展開しております。

APUは、国際大学の先進事例として文部科学省の中央教育審議会等で取り上げられ、その特徴と教育実績は、広く国内外で高い評価を得つつあると存じます。皆様のお子様が、この国際的な環境のもとで学ぶ経験はかけがえのないものです。彼らがAPUで大きく成長し、それぞれの進路をたくましく切り開くよう願うとともに、今後とも父母の会に皆様方のご協力・ご支援をお願い申し上げます。

# 2006年度会報発行によせて

立命館アジア太平洋大学 学長

**モンテ カセム** Monte Cassim



APUは学生数を1.5倍に拡大します。この少子化の時代に拡大できるのは、優秀で活気がある国内学生と国際学生が一緒になって創造的な環境を作っている、という我が校ならではの特長の表れです。国内で労働力不足や企業のグローバル展開が課題となる現在、我々は人材育成を通じた社会貢献を目指し、より多くの優秀な人材を国際社会に輩出したいと考えております。

先日、安倍首相がベトナムを公式訪問される際にも、東大や京大の学生とならんでAPUの学生が懇談の場に招かれました。普通、開学したばかりの大学ではありえない、大変名誉なことだと思います。

国と国の関係といっても基本は人です。国内学生は国際学生と一緒に彼らの母国へ行けば、都市部や観光地だけではなく、その国で暮らす人々の日常の現場を知ることができます。その国の人々の目線に立つこと

ができるのは、APUならではの強みです。その地域で暮らす人と交流し、人の絆を深め、深い理解を得られるからこそ、次の行動が有効なものとなるのです。個人のネットワークや信頼関係に基づく国際貢献が、今後の社会に大きな役割を果たすものと期待しています。

世の中は縦系と横系のようなものです。縦系の専門的な深さも大切、けれど、横系で仲間と連携して遠く離れていても一緒に仕事ができるような絆を作っていくことも大切です。APUのミッションは横系だと考えています。

父母の皆様のご支援のお陰で大学がますます元気になっています。これからも、総合的な人間力を培う大学を目指して邁進してまいります。入学時から就職活動までの長い間、教職員と共に学生一人ひとりを支えてくれているのは父母の皆様だと思います。今後とも変わらぬご教示の程、宜しくお願いいたします。





APU-Club・韓国学生父母の会 総会長

**河 泰鐘** HA, Tai-Jong

APU-Club・国内学生父母の会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。先日、韓国父母会の総会で選ばれ、総会長となりました河泰鐘と申します。皆様に韓国学生父母の会の近況についてお知らせいたします。

毎年、在学生の父母と新入生の父母を中心に総会を開催しています。今年から本格的にAPU卒業生が韓国社会で働き始めましたが、APUで得た多様な言語・文化的な経験を

生かして活躍していますので、今後も非常に期待しております。

一方、卒業生からはAPUのOBおよびOGの結束を望む声が出ており、就職のためのサポートだけでなく卒業生のネットワークにも多方面から支援をすることにしました。

また、APUに在学している韓国学生および入学予定者のための奨学事業も検討しながら、積極的に進めたいと考えております。

最後になりましたが、日本国内の父母会と海外父母会が互いに幅広い交流を深めますようお願いいたしております。ありがとうございました。

APU-Club・国内学生父母の会会員の皆様、お元気ですか。

最近のジャカルタは雨季が近づいているため非常に暑いのですが、皆、元気に過ごしております。APUインドネシア父母の会の全員が健康であると共に、子供たちも日本で元気に暮らしていることを願ってやみません。

インドネシア出身のAPU学生も卒業生が出ており、帰国してジャカルタで働いている者や、日本やその他の国で就職している者など、彼らの進路は実に様々です。

この場をお借りして、今年度の父母の会だよりの発行に感謝申し上げます。父母の会だよりで紹介される写真や情報は我々にとって非常にありがたいものです。子供たちがAPU学生として、どのような学習や自主活動（地域交流、スポーツやコンサート等の学内イベント）を行なっているのか知ることができます。他にもキャンパスで行われている活動を随時お伝えいただければ幸いです。

APU-Club・インドネシア学生父母の会 会長

**Ita Tundjung**



APU-Club・国内学生父母の会会員の皆様、お元気ですか。

Recently Jakarta is very hot because of the Rain season that should begin has not come yet. But we are all in a good health.

Hopefully all the entire member of APU Indonesia Parents Association is all in the good health too and so do our children.

As we all know some of the APU-INA students have graduated and now most of them working at various offices. Some of them come back and working in Jakarta, but some are working in Japan and other countries.

On this opportunity, I would like to express my gratefulness for the APU-Club・国内学生父母の会だより for all the information that written in the Vol.4 March 2006. We are very happy to get the information and through the pictures in bulletin we can see all about what are our children activities as Ritsumeikan Asia Pacific University students, on their academic activities and non academic activities, such as join volunteer activities in the local community or join a festival, sports, music concert, etc. Hopefully we will always be informed for the other activities at campus.

Best regards,



APU-Club・タイ学生父母の会 会長

**Maytee Itiravivong**

国内学生父母の会会長、役員そして会員の皆様、2006年度の会報発行にあたってタイ父母の会より祝辞を述べさせていただきます。

2006年度はタイ父母の会にとって満足のいく1年間であります。今後、国内学生の父母の皆様と活動をご一緒できますことを心待ちにしております。

タイ父母の会を代表しまして、国内学生父母の会の今後のご成功をお祈り申し上げます。この度は、誠にありがとうございました。

◆2006年2月18日（土）にタイ・バンコク市でタイ学生父母の会が開催されました。タイ出身のAPU学生のご父母に加えて、在学生やタイ国内で活躍しているAPU卒業生、さらに春に入学する新入生など約40名が参加しました。

当日は、大学代表者による父母の方々へのご挨拶で開会し、卒業生による学生生活の紹介、教職員から学生生活や進路就職の説明が行われた後、ご父母からの質問やご意見を伺いました。

APUとタイ学生のご父母との懇親を深めるだけでなく、APUに集うタイ学生同士の交流も深める機会となりました。



総会の様子

Akemashite Omedetou Gozaimasu.

Dear President of Domestic Association, The Association Executive Committee, and All Distinguished Members,

The APU Students' Parents Association [Thailand Chapter] would like to extend its congratulation to The Domestic Association for the AY 2006 Bulletin Publication.

The Year 2006 has been a great year for the Thailand Chapter and look forward to being actively involved in the future activities of the Association.

On behalf of the APU Students' Parents Association [Thailand Chapter], may I wish the Domestic Association the very best of success in its future endeavors.

Omedetou Gozaimasu.



父母の会では、学生の学修・進路のニーズに応じた支援の拡充に努めています。  
今年度、新たに支援したものも含めて、主な支援について紹介します。

国際交流支援

APUでは「グローバル・アクティブ・ラーニング」(現地参加型学習プログラム)\*を推進しており、交換留学を始め、長期・短期の海外言語研修、フィールドワークなどのプログラムを展開して学修の機会の充実を図っています。

父母の会では、より多くの学生の海外渡航を支援するため、交換留学に加えて「アクティブ・ラーニング」として実施する海外プログラムについても、今年度から奨学金を支給しています。



タイでのフィールドワーク

\*グローバル・アクティブ・ラーニングの開発は、文部科学省の平成17年度「大学教育の国際化推進プログラム」に採択されました。

「グローバル・アクティブ・ラーニング」プログラム・支援者数一覧

英語研修	シンガポール国立大学	17名(夏)	11名(冬)
	モナシュ大学	12名(夏)	13名(冬)
	ミネソタ大学ツインシティズ	—	10名(冬)
	ボストン大学	—	1名(冬)
	シモンズカレッジ	—	2名(冬)
アジア太平洋言語研修	マヒドーン大学(タイ語)	6名(夏)	—
	高麗大学(韓国語)	8名(夏)	7名(冬)
	ナバラ大学(スペイン語)	5名(夏)	2名(冬)
	モンテレイ工科大学(スペイン語)	1名(夏)	—
	ホーチミン市国家大学(ベトナム語)	—	4名(冬)
	復旦大学(中国語)	4名(夏)	—
フィールドスタディ	東南アジア体験フィールドワーク	7名(夏)	—
	ワライラック大学エコツーリズム集中コース	4名(夏)	9名(冬)
	フィリピン ネグロス島環境維持開発	—	7名(冬)

※上記プログラムは、夏セッション(8月～9月)・冬セッション(2月～3月)に実施されたものです。  
※冬セッションは支援予定者数です。

学生の声 | The Voice of the Students

タイ ワライラック大学  
エコツーリズム集中コース参加  
河添 智予さん (APS 2回生)

私の志望理由は、第一にエコツーリズムに興味があったこと、第二にそれを体験したかったことでした。参加する以前、私はAPUでの観光の講義や本などから、ある程度エコツーリズムについて理解しているつもりでした。しかし、実際にプログラムが始まってみると、エコツーリズムについての新しい発見や、日本との感覚の違いが見えてきました。プログラムに参加することで、タイと日本の比較研究のきっかけをつかみ、現在は日本の観光、エコツーリズムに立ち返って勉強しています。さらに、その勉強方法も、以前文献や講義で得ていた知識に留まらず、実際に行って体験し学ぶ手法を選びました。これは、このプログラムにおいてワライラック大学ならではの学修指導方法を習ったことによります。このように、このプログラムへの参加が良い意味で私の大学における研究に大きく方向転換を与えたと感じています。

オーストラリア モナシュ大学  
英語イマージョンプログラム参加  
谷 碧さん (APM 1回生)

現地に着いて最初に思ったことは、自分の英語力の無さでした。何を言われているのかわからず、自分が言いたいことも言えない状況に、すごくストレスを感じていました。でも、これだけくじけては英語を勉強しに来た意味がないと思い、聞き取れなくてもわからなくても、一生懸命聞き取ろう、伝えようとする努力を重ねました。自分の意見をはっきり伝えないと、ホストファミリーとも良い関係を築けません。ホストファミリーを始め、友達とも英語で話そうと心がけ、徐々に現地での生活にも慣れるようになりました。帰国してからも、毎日英語と向かい合い、英語に触れて、日々が充実しています。キャンパスでは国際学生の友達とも英語で会話をしてくれるように頼むなど、自分の英語の能力を高めています。1ヵ月では物足りないくらい、オーストラリアでの生活は自分にとっていい経験になりました。機会があれば短期でも、もしくは長期でも、もう一度行って英語の勉強をしたいです。

シンガポール国立大学 (NUS)  
英語イマージョンプログラム参加  
荒巻 光里さん (APM 1回生)

私はこのプログラムで、英語はもちろん、他のことも数多く学びました。毎日のレクチャーは、これからAPUで学修していく上で、役に立つことばかりでした。プレゼンテーションの仕方やスピーチの仕方の講義は少し難しかったけれど、NUSの先生方がとても親身になってくれました。特に、NUS学生とのディスカッションは英語のスピーキング能力を向上させるのにとても役立ちました。週1回のフィールドトリップも現地の文化を学ぶ良い機会でした。私はシンガポールに行ったことで、より異文化に興味を持つようになりました。普段のAPUの生活でも、国際学生に積極的に話しかけ、英語や異文化を吸収しようと努力することが多くなりました。NUSで学修したということが自信につながり、今では交換留学という目標を新たに見つけ、毎日頑張っています。

海外研修プログラム (テーマベース型プログラム・フィールドスタディ)  
—— 興味のある分野を休暇中に海外で学びたい学生に ——

2006年度に実施済み(一部予定)のプログラム

※明記されていないものについては、別途自己負担および手配が必要

プログラム名	派遣期間(予定)	単位認定	費用(めやす)※	募集・選考時期(予定)
テーマベース型				
東南アジア体験フィールドワーク(タイ)	夏期:8月上旬～中旬	可	5万円程度(宿泊費・食費・交通費・活動費)	5月
ワライラック・プログラム(タイ)	夏期・冬期の年2回(8月上旬・2月中旬/4週間)	可	20万円程度(授業料・現地滞在費(朝食付)・フィールドスタディ)	夏期:5月 冬期:11月
フィリピン・ネグロス島プログラム(フィリピン)	2月中旬開始(3週間)	可	15万円程度(プログラム費・宿泊費・食費)	11月
フィールド・スタディ(教員による引率)				
韓国 フィールド・スタディ	8月上旬(6日間)	可	詳細は募集時に発表	5月
パラオ フィールド・スタディ	8月下旬(3週間)	可	詳細は募集時に発表	5月
タイ フィールド・スタディ	8月上旬(10日間)	可	詳細は募集時に発表	5月
オーストラリア フィールド・スタディ	2007年夏期開始予定	可	詳細は募集時に発表	5月
インドネシア フィールド・スタディ	2007年夏期開始予定	可	詳細は募集時に発表	5月
モンゴル フィールド・スタディ	2007年夏期開始予定	可	詳細は募集時に発表	5月



## 英語・アジア太平洋言語イマージョンプログラム

### ——休暇中に短期集中で言語力アップ・交換留学へのステップアップに——

【概要】英語力向上のためにAPU学生向けに開発されたプログラム、および立命館大学と共同実施するプログラム。APU独自プログラム修了者については、2006年度冬期実施分（2007年2～3月）より、APUの英語開講科目として単位認定が可能。これにより、言語

科目を短期間で効率的に修得し、英語開講の基礎や専門科目の学習に取り組みやすくなりました。

### 2006年度に実施済み（一部予定）のプログラム

※明記されていないものについては、別途自己負担および手配が必要

プログラム名	派遣期間（予定）	レベル	費用（めやす）※	募集・選考時期（予定）
英語イマージョンプログラム				
シンガポール国立大学 英語アカデミック・プログラム（シンガポール）	夏期・冬期の年2回 （8月中旬・2月中旬開始）／4週間	TOEFL®450～500点程度 単位認定：英語中級Ⅰ	33万円程度 （授業料・渡航費・宿泊費・空港出迎え）	夏出発：4月 冬出発：10月
モナシュ大学 英語イマージョンプログラム（オーストラリア）	夏期・冬期の年2回 （8月中旬・2月中旬開始）／4週間	TOEFL®450～500点程度 単位認定：英語中級Ⅰ	45万円程度 （授業料・渡航費・ホームステイ・空港出迎え・フィールドトリップ）	夏出発：4月～ 冬出発：10月～
ミネソタ大学ツインシティズ校 英語イマージョンプログラム（アメリカ）	年1回の予定 （2月上旬開始／6週間）	TOEFL®450～500点程度 単位認定：英語中級Ⅰ・Ⅱ	58万円程度 （授業料・寮費・滞在中の食事・フィールドワーク活動費）	10月
アジア太平洋言語イマージョンプログラム				
中国語（復旦大学短期中国語研修）	夏期（8月上旬／3週間程度）	単位認定可能	授業料：4万円程度（3週間） 寮費：1,500円程度／日	5月
韓国語（高麗大学 日本人のための韓国語特別課程）	夏期・冬期の年2回	レベルⅠとⅡ 単位認定可能	授業料：12万円程度	5月
スペイン語（ナバラ大学スペイン語研修）	夏期・冬期の年2回 （8月下旬・2月中旬／3～4週間程度）	初級～上級 単位認定可能	3週間：19万円程度 4週間：23万円程度（授業料・ホームステイ・空港出迎え）	夏出発：5月 冬出発：11月
タイ語（マヒドン大学タイ語研修）	夏期（8月下旬／4週間程度）	単位認定可能	13万円程度 （授業料・宿泊費・フィールドトリップ・ホームステイ）	5月
ベトナム語（ホーチミン市国家大学）	冬期（2月下旬／6週間程度）	単位認定可能	44,000円程度 （学費・学習旅行）	
立命館大学との共同実施プログラム				
立命館・UBCジョイント・プログラム（カナダ）	8月末／9月初旬～翌年4月下旬	TOEFL®450点以上 単位認定可能	130万円程度（UBC実習料・渡航費・寮費・保険料） ※秋 semester 授業料Aが別途必要。	前年10月頃
立命館・ボストン大学「英語研修」 プログラム（アメリカ）	2月～3月（約4週間）	単位認定可能	40～50万円程度（授業料・寮費・朝夕食・航空運賃）	6月中旬～
立命館・シモンズカレッジ「アメリカの外交政策と東アジア」 プログラム（アメリカ）	2月～3月（約4週間）	TOEFL®480点以上 単位認定可能	50万円程度（授業料・滞在費・朝夕食・航空運賃）	6月中旬～
立命館・モンテレイ工科大学「スペイン語研修」 プログラム（メキシコ）	8月上旬～8月下旬	単位認定可能	50万円程度（授業料・宿泊費・食費・空港出迎え）	4月～

## APUキャリア・アドバイザー懇談会

創立以来の卒業生が約29万人を数える立命館大学では、在学生と卒業生のネットワークによる就職支援「キャリア・アドバイザー制度」を実施し、進路・就職支援の大きな特色となっています。現在、アドバイザーとして協力いただいている卒業生は2,000名を超え、「キャリア・アドバイザー懇談会」は一度に大勢のOB・OG訪問ができる機会として多くの学生が参加しています。毎年、父母の会では立命館大学で行われるキャリア・アドバイザー懇談会へAPU学生が参加する費用を支援しています。

今年度、APUでは初めて本学卒業生による「APU・RU卒業生とのキャリア・アドバイザー懇談会」を実施し、父母の会では開催費用を支援しました。11月25日（土）に学内で行われた懇談会では、14名のAPU卒業生が参加し、実社会における様々な経験を語ると共に、仕事の仕組み・やりがい・働くとは何かについて、在学生90名と懇談しました。

## キャリア・ディベロップメント支援

毎年支援を行っている「キャリア・ディベロップメント支援制度」は、就職活動・インターンシップ等でかかる交通費・宿泊費について30,000円を上限に全額補助しています。多くの学生が大分県外で就職活動を行うという実態を踏まえ、

学生の経済的な負担を緩和しようと設けられた制度です。申請方法など詳しくはキャリア・オフィスにお問い合わせください。

※この他にも、父母の会では様々な就職支援を行っています。12ページ「父母の会の就職支援事業」をご覧ください。



## TOEFL®・ITP、TOEIC®・IP、ハングル語検定試験の受験料補助

APUで実施される語学検定試験について、会員子女の受験料を補助しました。

今年度1回生・日本語基準で入学した学生の皆さんは、TOEFL®・ITPとTOEIC®・IPを年2回ずつ受験することが義務付けられています。父母の会では受験料12,000円のうち、6,000円の補助を行い、会員子女の年間受験料の個人負担額を半額に減額しました。

また、2回生以上の会員子女のTOEFL®・ITPとTOEIC®・IPの受験料についても、年1回限り個人負担500円で受験できるように、父母の会から支援を行っています。

ハングル語検定についても、1級～3級の受験者を対象に受験料を補助しています。

各試験の支援実績については、右表をご覧ください。

父母会員子女語学検定試験支援状況(2006年度)

試験名	1回生 TOEFL®・ITP TOEIC®・IP	2回生以上 TOEFL®・ITP	2回生以上 TOEIC®・IP	ハングル語検定
実施日	TOEFL®・ITP 7月12日・1月17日 TOEIC®・IP 6月28日・12月13日	6月21日・7月8日・ 7月12日・*10月18日・ 11月15日・1月13日・ 1月17日*	6月28日・7月1日・ 11月1日・12月9日・ 12月13日	11月12日
通常 受験料	12,000円 (4回分合計)	2,500円 (*の受験日のみ) 3,000円	3,000円	1級:8,000円 2級:5,200円 準2級:4,400円 3級:3,600円
会員子女 受験料	6,000円 (4回分合計)	500円 (*の受験日のみ) 1,000円	500円	1級:1,000円 2級～3級:500円
父母の会 支援者数	786名	296名	432名	50名

## 立命館大学 夏セッション参加者への宿泊費補助

京都・滋賀にキャンパスを持ち、9学部\*を擁する立命館大学との正課交流プログラムの一環で、APU学生は立命館大学で開講される「夏期集中科目」を履修することができます。また、受講期間は、学内の宿泊施設「セミナーハウス」に滞在することが可能です。

父母の会では、立命館大学で夏セッションを受講した会員子女48名に対して、セミナーハウスへの宿泊費を補助しました。



\*2006年現在

### 学生の声 The Voice of the Students

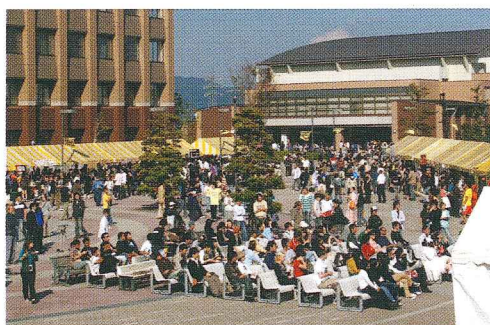
「ターミナルケア論S」受講  
佐々木 昂輔さん (APS 4回生)

この科目では、「死」について多く考える機会を得られました。このようなテーマはAPUで学んでいる分野と関連が無いため受講を迷いましたが、シラバスを閲覧して非常に興味を持ちました。受講し終えた今、受講してよかったと感じています。様々な講義の中から興味あるものを選択できることは嬉しく思います。立命館大学との連携で行われるセッションのシステムは非常に有効であり、今後も幅を広げて行って欲しいです。

「政策科学特殊講義」受講  
林 憲仁さん (APM 3回生)

夏セッションの科目では、立命館大学の学生とAPUの学生がともに学びます。同じ学園の学生でありながら、私は立命館大学の学生と交流したことが無かったため、今回は貴重な交流の場であり、プレゼンテーションを要する講義であることも手伝って、彼らの問題意識や物事に対するアプローチの違いを知ることができました。

## 天空祭



10月28日(土)・29日(日)にAPUキャンパスで第4回「天空祭」が開催されました。

当日は各国のエスニック料理、オリジナル料理が並ぶ模擬店やフリーマーケットをはじめ、World Costume Photo Studio(各国の民族衣装を着て記念写真を撮る企画)など、学生の趣向をこらしたコーナーが出店されました。

メインステージでは和太鼓、韓国伝統芸能のサムルノリ、吹奏楽や学生バンドによる演奏など盛りだくさんのパフォーマンスが披露され、天空祭は学生の課外活動の集大成の場として広く定着しつつあります。

29日(日)には父母の会「地域懇談会」がAPUで開催されたことから、会場には父母の皆さんの姿も多く見られました。なお、2日間の来場者は13,500人でした。

父母の会は、この他にも以下のイベントに協賛しました。

①新歓祭(5月13日開催)

③マルチカルチュラルキャンプ(11月12日～13日開催)

②第4回APUビジネスプランコンテスト(11月1日開催)



## 中央教育審議会でAPU国際戦略を報告

2006年5月22日、文部科学省の中央教育審議会（中教審）大学分科会からの要請で、APUの国際戦略について学長が報告を行いました。

学長は、国内外の高等教育機関やオピニオン・リーダーたちがAPUに示す関心や評価の高さを「APUの成功」とみなすならば、その背景にあるものとして、①日英二言語教育という先進的な教学方針、②「学生がよく勉強する大学」づくり、③高い進路・就職状況に見られる卒業生の国際通用性、などを挙げて説明しました。さらに、今春から実施されている5つのインスティテュートによるユニークな教育計画を紹介しました。

中教審の委員からは、日本の高等教育全体が国際化するためにはどのようにすればよいと考えるか、国際大学たるAPUの成功を受けて立命館大学はどのように変わったか、など、我が国の大学の国際化の現状に対する質問、APUが目指す学生像および国際学生・国内学生の共同の状況などの質問が寄せられました。

我が国の高等教育政策に大きな影響を与える中教審大学分科会ですが、このような場において、APUは重要な関心の対象として位置づけられていると言えます。

## 経済財政諮問会議でAPUが紹介

2006年3月16日に開催された経済財政諮問会議（平成18年第6回）で「人財立国」に向けた具体的な取り組み事例としてAPUが紹介されました。

経済財政諮問会議とは、経済財政政策に関して内閣総理大臣のリーダーシップを存分に発揮することを目的に、2001年1月から内閣府に設置された合議制機関です。

APUは、アジアの優秀な人材の日本での留学・研究を拡大させるとともに、日本の若者のアジア派遣を促進し、若者の交流を進めるという「アジアの人材交流」の取り組みの中で取り上げられました。

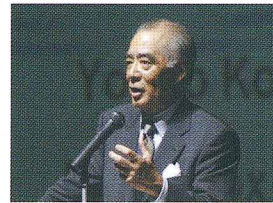
## 国際機関リレー講義を開講

今年度、国際政治・経済・人権などの国際関係に関心を持つ学生を対象に、以下の7機関が来学し、それぞれの役割・現状・課題についてリレー講義を開講しています。

- 国連難民高等分務官事務所（UNHCR）
- 経済産業省
- 国連世界食糧計画（WFP）
- 国際移住機関（IOM）
- 国連食糧農業機関（FAO）
- 日本ASEANセンター
- 欧州連合（EU）

## トップ講演会

APUでは開学以降、国際的な企業のトップをはじめとする各界のリーダーを講師にお招きし、学生がより明確な目的意識を持ってキャリア形成を行うよう「トップ講演会」を開催しています。講演会には毎回多くの学生が出席し、世界の情勢や経済状況への理解を深めるとともに、ビジネスや行政の最前線で活躍されている方々から社会の現場で求められる人材像を学んでいます。今年度は、下記の方々にご講演いただきました。



10月4日（水）

富士ゼロックス株式会社  
相談役最高顧問

小林 陽太郎氏

11月16日（木）

富士通株式会社  
代表取締役社長

黒川 博昭氏



12月8日（金）

日産自動車株式会社  
取締役副社長

高橋 忠生氏



12月15日（金）

全日本空輸株式会社  
代表取締役会長

大橋 洋治氏



## 教育・研究充実資金へのご寄付のお礼

APUは2000年の開学から、お陰様で7年目を迎えることができました。地元大分県・九州と、アジア各国を含む日本の経済界、そして父母の皆様からの多大なご支援を得て、21世紀の大学創造のモデルとして、日本の高等教育における国際化の先進的な役割を果たしています。

APUの教育は、今年度も文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択されるなど高い評価を受けておりますが、その真の評価はAPU卒業生がグローバル社会の多様な分野でリーダーシップを発揮し、活躍することで初めて得られるものだと考えております。これからも学生を中心に置いた特色ある教育を実践し、世界に羽ばたく人材を育成できるよう努力を重ねる所存です。

現在、APUは更なる発展と一層の国際化を目標に、教育・研究・社会貢献分野について全学で幅広い改革に取り組む「APUニューチャレンジ計画」を実施しています。この取り組みの中では、学部のカリキュラム改革、

インスティテュートの設置、グローバル・アクティブ・ラーニングの推進などを通じて、高い問題意識を持った、チャレンジ精神にあふれる個性豊かな学生を育ててまいります。

一方、財政面では、時代の趨勢に即応した教育環境を提供するために、私立大学ではありますが国の補助金を積極的に獲得しようと努力し、教職員も学生支援のために、僅かばかりとはいえ自ら寄付を行って参りました。

この度、父母の皆様へご理解とご支援をお願い申し上げましたところ、2006年度は3,667,000円（2007年1月11日現在）と非常に多くのご寄付を頂戴いたしました。本学の取り組みにご賛同賜り、ご支援いただきました皆様に改めて心より御礼申し上げます。頂きました寄付金は、施設設備の充実および教育研究・奨学資金として、様々なかたちで学生の学修と学生生活の向上に充てて参ります。

今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





5月13日(土)、APUにて定例懇談会が開催され、新入生父母を含む249名の父母の皆様にお集まりいただきました。

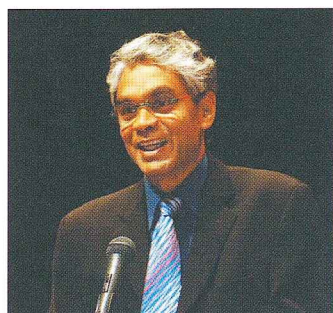
会ではまず、今年度の役員体制が紹介され、役員を代表して工藤会長よりご挨拶がありました。続いて、カセム学長がAPUの近況を交えて挨拶し、甲賀学長補佐より「立命館憲章」と「立命館学園中期計画」について説明がありました。その後、事務局から昨年度の事業報告、今年度の事業計画の紹介と監査報告を行いました。

そして、昨年度の「父母の会表彰制度」で奨励金が授与された2名と、当日キャンパス内で開催された「新歓祭」を企画運営した学生団体の代表より、父母の会の支援に対するお礼が述べられました。

引き続き、就職・学生生活・学修のガイダンスが開催され、メモを取って熱心に説明を聞く出席者の姿が数多く見られました。

カフェテリアで行われた交流会にも多くの父母の方々が参加され、地域ごとに自己紹介が行われるなど、懇親を深めました。

## 学長挨拶および大学の近況報告



学長 (APU-Club・国内学生父母の会 名誉会長)

モンテ カセム Monte Cassim

APUは現在、74ヵ国・地域\*から約1,900名の海外留学生を迎えています。短期留学生も含めると、約半数の学生が留学生です。この多様性がAPUの創造性を増していると感じます。小泉前総理大臣が本学の行事に出席され、中央省庁の方々も来学くださり、APUへの支援は増えています。御手洗経団連会長などオピニオンリーダーの方々が来られたことによって、日頃、霞ヶ関

の意思決定をしている方々の心の中にAPUが入り始めています。従来、国立大学や巨大な私立大学しか視野に入れていなかった方々の心に、別府にある小さな私立大学が入るということは ①コンセプトの素晴らしさ ②留学生が半数を占めるという日本の大学では異例な存在 ③時代のニーズにあったことに取り組んでいる努力、の3つの成果だと思っています。

このような本学の特徴が、最近では一般市民の中にも浸透し始め、様々な業界からの評価でもAPUのブランド力は高くなっています。APUをより良くする動きの一環として、企業の世界戦略を支える優れた学生の輩出を目指す「グローバル人材養成」を展開しており、企業からの期待が寄せられています。また、社会のニーズを見据えた上で、5つのインスティテュート（ツーリズム&ホスピタリティ、健康・環境・生命、国際戦略、情報通信・技術関係、言語）という教育・研究組織を新設して規模を拡大しました。APUはもっと社会のニーズに適した学校として成長することを目指します。教育のシステムをより良いものにし、学生の「現場力」つまりは「経験」と「交流」を促進するために実践的学習や体験を重視したプログラムを開発しています。机上の教育だけではなく、急速に変化する時代に対応できるたくましい人材を育てたい。これがAPUの教育で一番大事なことのひとつだと思います。

\*2006年5月1日現在

## 父母の会 会長挨拶



APU-Club・国内学生父母の会 会長

工藤 高史 Takashi Kudo

この父母の会は、設立から5年目を迎えておりますが、学生生活の支援を中心に幅広い活動を展開して参りました。国内学生の英語力向上に資する語学試験の受験料補助、就職活動にかかる交通費と宿泊費の補助なども行っております。このように、学生の希望する目標の実現に向けてサポートする活動を展開しております。

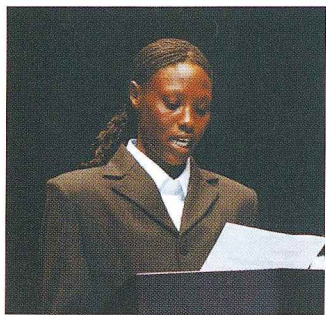
APUでは、さらなる発展と一層の国際化という目標を掲げて、APUニューチャレンジ計画に取り組んでおります。教育分野の改革を中心に、既存の2つの学部の中に、学際的なインスティテュートという組織を設置したり、国内外でのフィールドワークなどの実践的な学習プログラムを行ったりする、ということでございます。国籍を越えたコミュニケーション能力と人的ネットワークを築き、果敢に時代を創造できる人材の育成が期待されております。父母の会といたしましても、このような大学の取り組みに応じた活動を行って、父母の会と大学が一緒になって学生の学業の学びと成長を促進させる環境づくりを目指したいと考えております。

また、経済財政諮問会議という経済財政政策に関する官邸主導の会議の中で、ある日のテーマは「グローバル経済戦略、人材立国の実現」というものでしたが、二階経済産業大臣(当時)が説明した資料の中で「人材立国へ向けた具体的な取り組み」という項目があり、「アジアとの人的交流の例」としてAPUが紹介されていました。APUは官邸でも知名度が高まっているということです。

カセム学長から、留学生の出身国・地域を100まで増やしたいという意欲的なお話を伺いました。まさに、ミニ国連・ミニ地球のようです。カセム学長をはじめAPU教職員のこれからの活躍に敬意を表すると同時に、私共もこれをサポートしたいと思っています。



## 父母の会表彰学生 お礼と活動報告



APU女子陸上競技部

**ワンジョイ・メリー・ワンガリ**  
Wanjohi Mary Wangari

APS 2回生

※2006年10月に開催された「第24回全日本大学女子駅伝対校選手権大会」で、ワンガリ選手は1区を快走し、区間賞を獲得しました。

「津軽三味線全国コンクール」のプロ・アマを問わない一般の部で昨年と今年、2年連続で優秀賞を受賞しました。また、学内では邦楽部のメンバー等と一緒に舞台上に立ったこともあります。APUの邦楽部は国際色豊かで、ベトナムや韓国からの学生も多くいます。私は邦楽に保守的な印象を持っていましたが、その常識が良い意味で崩れました。APUで保守的な常識にとらわれなくなったことも、全国の大舞台で良い成績を残すことができた理由のひとつだと思います。海外の方には「日本の文化を知るきっかけ」に、日本の方には「自国の文化を再認識するきっかけ」になれば、と思って演奏活動を続けています。これからは、奏者として活動するにとどまらず、APUで学んでいる「持続可能な発展・開発」と関連させて、日本の伝統楽器である津軽三味線を弾くことでどのような社会貢献ができるのか、様々な角度から勉強し続けたいと思います。



**鈴木 利枝** Toshie Suzuki

APS 2回生



Welcome Committee 代表/  
学園祭実行委員会Baseイベント副代表

**奥村 厚太** Kouta Okumura

APM 2回生

私が入学した時、新入生歓迎のイベントは入学式当日のパフォーマンスのみでした。それが少し寂しく感じられたので、各サークルの活動内容や大学について全体を捉えることのできる機会が持てないものか考えました。そこで、学術系や体育系の各サークル、新入生の歓迎企画を考えている団体などと協力して“Welcome Committee”という団体を設立しました。

そして今年、初めての試みとして新入生歓迎月間を開催することとなりました。初めてということもあり、まだまだ上手くいかない部分もあったのですが、締めくくりの「新歓祭 ピカピカ」には悪天候のなか多数の学生が参加してくれ、自分なりに成功を実感しています。このような活動によって新入生も積極的に課外活動へ参加し、自分の考えを実行に移せる自由な気風に満ちた大学であることを知って、より有意義な学生生活を送ってみたいと願っています。

※父母の会はWelcome Committeeが開催した「新歓祭 ピカピカ」へ協賛しました。

## INTERVIEW

>>父母の皆様にお話を伺いました。



**溝上 様**

福岡県/APM 1回生

APUの雰囲気は、他の大学にないものがありますね。

活があり、保護者の立場

から見てもおもしろいです。学生代表の皆さんのスピーチも明確でわかりやすく、感心しました。せっかくAPUで学んでいるので、様々な国の人と垣根なくコミュニケーションをとったり、勉強以外で人間的なところも学んだりして欲しいと思います。異文化に目を向けることで、日本や日本語も改めて見直して欲しいですね。



**一村様ご夫妻**

福岡県/APS 2回生

子供の入学前に伺った学長のお話が素晴らしく、自分が入りたいと思ったほどでした。目標を持ったやる気のある人が、何でもできる大学ですね。それがお互い刺激になり、モチベーションも上がっているのでしょう。みんなの目がキラキラしていますよね。定例懇談会に参加したことで、学校の雰囲気がつかめて良かったです。子供には、この環境を活かして存分に頑張ってもらいたいと思います。

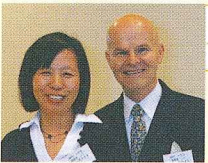


**小金丸様ご夫妻**

福岡県/APS 1回生

「父母の会」会長のお話から、開学から間もないのにAPUのブランド力が確実にアップ

していると感じました。定例懇談会には初めて参加しましたが、大学の行事に参加する度に、カセム学長をはじめ皆さんのモチベーションの高さを強く感じます。大学の姿勢が保守的ではなく前向きなのにも期待が高まります。実は進路選択の時、子供が「APUにしか行かない!」と言って聞かなかったんです。この巡り合いに、今はとても感謝しています。



**ウールブライト様ご夫妻**

福岡県/APS 1回生

定例懇談会に参加して、APUは建て前ではなく本音で話せるオープンマインド

な大学だと感じました。APUの中身は決して「就職と授業だけ」ではないですね。学生がカフェテリアで働いていたり、みんなで積極的に大学をつくっていているところも印象的でした。APUでしか経験できないことがたくさんあり、学生は幸せだと思います。是非いろんな国の人と知り合って文化を学び、国際経験を積んで欲しいです。





2006年度は、全国7ヵ所（北海道・東京・愛知・大阪・香川・福岡・大分）で地域懇談会を開催し、延べ615名の会員の皆様に出席いただきました。

全体会では、父母の皆様の関心の高い留学や就職についてのガイダンスが盛り込まれ、資料に沿った詳しい説明が行われました。さらに、APU卒業生や在校生から就職活動の体験談や4年間の学生生活で得られたAPUならではの経験などが報告され、父母の皆様に学生たちの生の声をお届けすることができました。

その後の各学年に分かれたグループ別懇談会では、活発な意見交換が行われ、交流会は今年度より会費を無料としたこともあり、参加者数も増えて盛況な会となりました。今回は福岡会場の模様をご紹介します。

## 学長・父母の会役員挨拶

この大学は、学生、職員、父母の皆さんが一緒になって頑張って手作りしてきた大学です。その頑張りの成果が、今少しずつ様々なカタチで現れてきています。昨日は、科学技術政策担当大臣にお会いしました。科学とは縁遠いように思われるAPUですが、「これからの日本に必要な、模範的な大学ですね」と、大臣からありがたい言葉をいただきました。別府にある小さな学校が、国から期待されているのです。我々は、その使命感を持って大学を創っていかねばならないと考えています。

いつも学生たちには、田舎だからといって寂しがないように、と話しています。私や教職員が一生懸命皆さんの足もとに「世界を運ぶ」ことを

約束しているからです。実際に世界の第一線で活躍する方々がAPUへ足を運んでくれています。学生の皆さんには、そこから豊かな発想や考えをしっかりと学んで欲しいと思っています。

また、人間力も学んで欲しいことです。考えをしっかりと持ち、異質なもののにも柔軟に対応できる揺さぶられない力。APUの就職率が高いのも、人間力が身につけているからだと思います。

「明日の歴史を我々がつくっていく」と思える、人間力を育む大学になりたいと思っています。父母の会の皆さん、これからもAPUをよろしくお願いします。



立命館アジア太平洋大学 学長

モンテ カセム Monte Cassim



APU-Club・国内学生父母の会 監事

福本 司郎 Shirou Fukumoto

本日は福岡会場ということで、九州にお住まいのご父母を中心に、北は北海道から南は熊本まで幅広くお集まりいただきありがとうございます。

5年目を迎える父母の会では、国内学生の英語力向上のための語学試験の受験料の援助や、就職活動における交通費および宿泊費の補助など、学生の希望する目標の実現に向けた支援を中心に活動を進めています。今後も更に支援の機会を増やし、学生一人ひとりの成長を支える活動を進めて参りたいと思っています。

現在、APUでは更なる発展と一層の国際化という目標に向け、全学で「APUニューチャレンジ計画」に取り組んでいると伺っております。教育

分野の改革を中心に、国内外での実践学習プログラムなどに取り組み、国籍を越えたコミュニケーション能力と人的ネットワークで果敢に次代を創造できる人材の育成を期待しております。

本日の懇談会では、ご要望の多かった「留学」と「就職」についての説明会を盛り込んでおります。また、今年度より、多くの会員の皆様にご参加いただけるよう交流会の会費を無料と致しました。皆様のご意見・ご要望をいただきながら、今後ともより一層充実した会となりますよう、役員一同尽力して参ります。



## 就職活動体験談

私は今年の3月にAPUを卒業し、現在は銀行で為替の仕事をしています。

学生時代に特に力を入れたのはサークル活動です。Ones'1というサークルに所属し、「持続可能な発展」というテーマで活動を行っていました。具体的には「自分たちだけでなく次の世代や孫の世代のことまで考えて行動しよう」という主旨の下に活動を行うサークルで、環境や教育、地域、文化という観点から数々のプロジェクトを立ち上げました。特に、私は別府亀川地域の活性化に取り組みました。その交流を通し“思いやり”や“感謝の気持ち”を学ぶことができ、自分自身も成長することができました。ゼミとサークルを同じテーマで活動

することができたので、卒業論文も4年間の集大成として取り組むことができました。

就職活動ではキャリア・オフィスが実施する様々な行事に参加し、希望する企業へエントリーシートを提出しました。APUの日々の授業では自分の意見を主張し、人の意見を聞くことを求められていたので、筆記試験や面接で苦勞することはありませんでした。自分がどんな人間でどんな価値観を持っているか、何をしたいかをしっかり軸に持っていれば、就職活動はうまく運べると思います。

ご父母の皆様も、お子様がいろいろなことに思う存分挑戦できるように、どうか温かく見守っていただければと思います。



株式会社大分銀行 勤務

岡田 祥伸 Yoshinobu Okada

APS 卒業生



帝人株式会社 内定

徳重 沙織 Saori Tokushige

APM 4回生

私は就職活動のため春から2ヵ月間大学を離れ、東京に寮を借りていました。拠点を東京にした理由は、より多くの企業が採用活動を行う場所で自分の可能性を試したいと思ったからです。

就職活動は、年々その事情が変わってきています。企業は、職種や勤務形態など多様な働き方を提唱しています。お子様がご家族に就職の相談をすることがありましたら、就職事情も変わっているんだな、ということを念頭に置いてどうぞじっくり話を聞いてあげてください。

活動が長期に渡りますと、ストレスも溜まり大学受験以上に大変なこともあります。私は友人達が内定をもらい始めた頃、自分は頑張っても頑張っても

も内定が出ず、落ち込んだことがありました。その時は家族や友人の励ましのおかげで、自信を取り戻すことができました。その後いくつかの内定をいただき、最も希望していた企業に内定を決めることができました。就職活動は辛いこともありましたが、自分自身も成長できたと思います。もちろんそれ以前に、学生生活を充実して過ごせたことが自信につながり、それが就職活動の成功を導いたと思います。

最後に、就職活動の費用など父母の会の皆様に援助いただいたことを、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

## INTERVIEW

>> 父母の皆様にお話を伺いました。

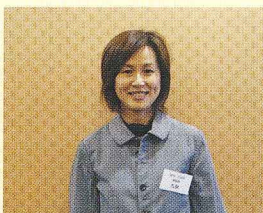


木村様 ご夫妻

福岡県/APM 1回生

本日の父母の会に参加して、知れば知るほど魅力的な大学だと感じました。カセム学長をはじめとする先生方のお話や子供と同世代の方々の話から、学校の方針や意欲がはっきりと伝わってきて、この学校に入学してくれて良かったと思っています。就職活動の経験談も伺うことができて良かったです。自分の子供も、本日話された学生たちのように成熟してくれればいいな、と期待しています。74ヵ国・地域\*から学生が集まっている素晴らしい環境を活かして、学べるものはしっかり学んで、大きな人間になって欲しいですね。

\*2006年5月1日現在



久保様

福岡県/APS 2回生

多くの先生方が学生たちのことを本気で考え、行動してくれていることを実感でき、とても感動しました。APUが様々な分野からも注目されていることもわかり、非常にありがたいと同時に、うらやましくも感じました。学校の理念もしっかりとしていますね。特に、カセム学長の人柄は魅力的です、安心して子供を預けられる、と思わせてくれます。APUに入学してから子供もイキイキと輝きはじめ、会うたびに成長を感じて楽しく思っています。この恵まれた環境の中で人間関係や交流を育み、人の役に立てる人間になって欲しいですね。



## 就職内定状況について

2006年度卒業生の就職状況は好調で、昨年に引き続き大変順調に推移しています。内定率は96.4%(2006年12月31日現在)、うち上場・大手企業への内定率は(公務員・法人などを除く)は78.1%に達しており、キャリア・オフィスでは就職ガイダンス、キャリアディベロップメント講座\*、個別相談、求人票の掲示、資格試験対策講座(簿記・パソコン)など、手厚い就職支援を展開しています。

APUの就職支援の最も大きな柱として「オンキャンパス・リクルーティング」を実施しています。これは企業の方々に来学いただき、APUの学生を対象として説明会や筆記試験、面接といった採用の一連の流れを、APUのキャンパスで実施するものです。2006年度のオンキャンパス・リクルーティング参加企業は200社を超え、APUでの会社説明会あるいは面接や筆記試験といった選考への参加をきっかけとして内定を得た学生は、APU内定者全体の36.6%に上ります。

企業は学力・語学力・専門知識に加え、「高いコミュニケーション能力・問題解決能力」「ものごとに対する積極的かつ主体的な態度・姿勢」を求めています。採用意欲が活発化する一方、厳選採用は続いており、学生には確かな学力と人間力が問われています。自らの目的意識を持って4年間の学生生活を送ることが必要です。

\*様々な業界から講師を招き、具体的なビジネス事例をテーマにしたディスカッションを行い、その解決策を導き出すことに重点を置く課科目

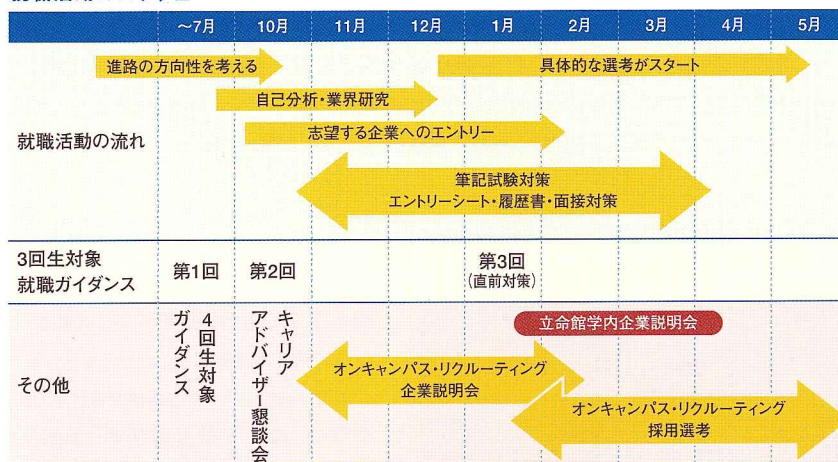
## 2006年度卒業生 内定報告状況 (2006年12月31日現在)

		男子	女子	計
全体	就職希望者	193	251	444
	内定報告者	185	243	428
	内定率	95.9%	96.8%	96.4%
国内学生	就職希望者	145	162	307
	内定報告者	139	156	295
	内定率	95.9%	96.3%	96.1%
国際学生	就職希望者	48	89	137
	内定報告者	46	87	133
	内定率	95.8%	97.8%	97.1%

参考▶ 私立大学(四年制)就職内定率 全国78.6%/九州地区73.8%

厚生労働省調べ「平成18年度大学等卒業生就職状況調査(2006年12月1日現在)」より

## 就職活動のスケジュール



## 2006年度卒業生 主な内定先企業・団体 (2006年12月31日現在)

- 愛三工業(株)
- アクセンチュア・テクノロジー・ソリューションズ(株)
- アコム(株)
- 味の素(株)
- ㈱アステム
- アップルコンピュータ(株)
- アデコ(株)
- アメリカンファミリー生命保険会社
- イオン(株)
- 伊藤忠テクノサイエンス(株)
- ㈱INAX
- エアーニッポン(株)
- ㈱エイチ・アイ・エス
- ㈱ANAエアサービス東京
- SMBCフレンド証券(株)
- NECエレクトロニクス(株)
- ㈱NTTデータ
- エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)
- エミレックス航空
- ㈱大分銀行
- 大分セロックス(株)
- 大分みらい信用金庫
- ㈱オーシー
- ㈱オートバックスセブン
- 岡三証券(株)
- 小野薬品工業(株)
- ㈱オリジン東秀
- オリックス(株)
- オリジナル(株)
- 花王(株)
- ㈱ガリバーインターナショナル
- カルソニックカンセイ(株)
- ㈱京都センチュリーホテル
- 京都中央信用金庫
- クラブツーリズム(株)
- クラリオン(株)
- グランドハイアット 東京
- ㈱栗本鐵工所
- ㈱京葉銀行
- ケンコーコム(株)
- ㈱幸楽苑
- 国税庁
- コベルコ建機(株)
- ㈱コムスン
- ㈱再春館製薬所
- サンウエーブ工業(株)
- サンスター技研(株)
- サントリー(株)
- G.A.コンサルタンツ(株)
- ㈱JTB中部
- ㈱ジェシービー
- ㈱JTB九州
- ㈱JTB西日本
- ㈱ジリス
- ㈱滋賀銀行
- シティバンク、エヌ・エイ
- シャープ(株)
- ㈱JALスカイ九州
- JALスカイサービス(株)
- ㈱JALスカイ那覇
- ㈱JALナビア大阪
- 昭和電工(株)
- 新日本空調(株)
- ㈱すかいらーく
- 住商リース(株)
- 住友化学(株)
- 住友ゴム工業(株)
- 住友生命保険相互会社
- 住友電装(株)
- 積水ハウス(株)
- セコム(株)
- ㈱セブンイレブン・ジャパン
- 全日本空輸(株)
- ㈱ゼンリン
- ソニーグローバルソリューションズ(株)
- ソフトバンクBB(株)
- ソフトバンク・ヒューマンキャピタル(株)
- ㈱損害保険ジャパン
- 第一実業(株)
- 第一生命保険相互会社
- 大成建設(株)
- 大日本インキ化学工業(株)
- 大日本印刷(株)
- ダイヤモンドリース(株)
- 大和証券(株)
- 大和証券エスエムビーシー(株)
- 大和ハウス工業(株)
- ㈱地域科学研究所
- 中外製薬(株)
- 中部国際空港旅客サービス(株)
- ㈱テッチュアンナ
- ㈱TKC
- ㈱帝国ホテル
- 帝人(株)
- デル(株)
- 東海ゴム工業(株)
- ㈱東急リサーチサービス
- 東京海上日動火災保険(株)
- 東芝データ(株)
- 東レ(株)
- ㈱トキハ
- ㈱トキメック
- 凸版印刷(株)
- ニコン(株)
- ㈱西日本新聞社
- 西日本旅客鉄道(株)
- ニチコン(株)
- 日揮プラントック(株)
- ㈱日経リサーチ
- 日興コーディアル証券(株)
- 日産自動車(株)
- 日特エンジニアリング(株)
- 日本軽金属(株)
- 日本通運(株)
- 日本電気(株)
- ㈱ニフコ
- 日本アイ・ビー・エム(株)
- ㈱日本公文教育研究会
- 日本研紙(株)
- ㈱日本航空インターナショナル
- 日本生命保険相互会社
- 日本トランスオーシャン航空(株)
- 日本ビクター(株)
- 日本マクドナルド(株)
- ㈱NOVA
- 野村證券(株)
- ㈱パナソニック
- 東日本旅客鉄道(株)
- 久光製薬(株)
- ㈱ファーストリテイリング
- ㈱福岡銀行
- ㈱福岡銀行
- 富士ゼロックス(株)
- 富士ソフト(株)
- 富士通(株)
- ペンタックス(株)
- ㈱堀場エステック
- マースク(株)
- ㈱毎日コミュニケーションズ
- 松下電器産業(株)
- 三井化学(株)
- ㈱三井住友銀行
- 三井物産(株)
- 三井ホーム(株)
- 三菱電機ロジスティクス(株)
- 三菱UFJ証券(株)
- 南九州コカ・コーラボトリング(株)
- 明治安田生命保険相互会社
- ㈱明電舎
- 矢崎総業(株)
- ヤマハ発動機(株)
- ユアサ商事(株)
- ㈱USEN
- ㈱ユニクロ
- ㈱リクルート
- ㈱リクルートHRマーケティング
- ㈱ローソン
- YKK(株)
- YKK AP(株)



## 父母の会の就職活動支援

4ページでご紹介した「キャリア・ディベロップメント支援制度」「APU・RUキャリア・アドバイザー懇談会」をはじめとして、父母の会では様々な就職支援事業を展開し、学生の皆さんの就職活動をサポートしています。

### 01 立命館大学就職企画 「キャリアアドバイザー懇談会」への APU学生の参加

立命館大学の卒業生は創立以来約29万人に上り、本学の卒業生では未だカバーできない幅広い業界で活躍されています。この「キャリアアドバイザー懇談会」では、立命館大学の卒業生から、業界や企業の「生きた情報」と実践的なアドバイスを受けることができます。

今年度は2006年9月30日(土)にびわこ・くさつキャンパス、10月1日(日)に衣笠キャンパスでそれぞれ開催され、メーカー・商社・流通・マスコミ・サービス業など幅広い職種の先輩方が参加くださいました。父母の会では、往復のフェリー代、大阪南港⇄キャンパス間のバス代、そして宿泊費について補助を行いました。会員子女24名を含む46名が参加し、会員子女は参加料を無料としました。



### 02 立命館大学就職企画 「立命館学内企業説明会」への APU学生の参加

2月上旬から3月中旬にかけて企業・団体の人事担当者が立命館大学を訪れ、説明会を開催するものです。多岐にわたる業種から400社以上の人事担当者が来訪するため、これから本格的に就職活動をスタートさせようとするAPU学生も多く参加しています。父母の会では昨年につき、参加のための旅費の支援を行っています。



### 03 筆記試験 (SPI) 対策講座

2008年度の採用の本格化を控え、企業が実施する筆記試験の中で最も代表的な「SPI試験」について、APUでは早い段階で問題に慣れ、その傾向と解き方などを理解することを目的に、学研メディコンより講師をお招きし、ガイダンスと模試をセットとした対策講座を開講しています。父母の会は、10月18日(水)と12月6日(水)の2回にわたって開講された対策講座の委託費を支援しました。講座には延べ414名が出席し、会員子女は受講料を無料としました。

### 04 就職関連書籍購入

父母の会では、学生に最新の就職関連情報を提供すべく、年鑑、総監、総覧などの書籍を定期的に寄贈し、就職資料室の充実を図っています。



## インターンシップとは

在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連すると考えられる企業・団体等で就業体験（多くは無償）を行うことです。今秋、文部科学省は2005年度にインターンシップを取り入れた大学の割合が62.5%に達したと発表しました。参加学生数は全国で4万2千人にも上ります。

本学では、主に夏と冬のセッション期間中にインターンシップを実施しており、開学以降、協定型（APUと提携を結んだ受け入れ先でのインターンシップ）だけでも100を超える企業・団体に、延べ約850人の学生が参加しました。

最近の傾向として、「採用直結型インターンシップ」が各業界に広がっています。これは、インターンシップに参加した学生の中から、優秀な学生に内定を出すという採用方法です。APUでは、この「採用直結型インターンシップ」を積極的に展開しています。

### 本学インターンシップの主な形態

#### 01 協定型

本学と覚書を交わし、提携した企業・団体にインターンシップを行います。毎年6月・11月頃にガイダンスを実施、その後、派遣先をキャリア・オフィスのホームページに掲載し、募集と選考を行います。インターンシップ期間中の事故に備え、保険の加入が必須となっています。

#### 02 自由応募型

学生が独自にインターンシップ先を探し、申し込みます。多くの学生は、関心のある企業のホームページから情報を得て応募しているようです。保険に加入する必要があるので、参加が決定した場合は、必ずキャリア・オフィスへ事前に連絡しなければなりません。

### Q&A

#### Question インターンシップは単位化できますか？

**Answer** 学修の発展や将来のキャリア形成に役立つ内容で、受け入れ条件や事前研修への参加・実習時間など一定の要件を満たせば、協定型・自由応募型ともに正課科目として登録することができます。就業体験を積むとともに、インターンシップで在学中に最大8単位を取得することが可能です。事後に報告書などの提出も必要になりますので、事前にキャリア・オフィスにて詳細を確認してください。

#### Question 派遣期間はどのくらいですか？

**Answer** 1週間から2週間くらいまでが一般的です。企業によっては1日のみ、1ヵ月間など差があります。また、派遣時期の最近の傾向として、春よりも夏にインターンシップ生を募集する企業が多いようです。

#### Question 仕事の内容はどのようなものですか？

**Answer** 多種多様です。会社見学的なものや講義中心のものから、実地研修や一つのプロジェクトを仕上げるものなど、企業によって異なります。仕事の内容は、事前に受け入れ先へ確認することが大切です。

#### Question 海外でもインターンシップができますか？

**Answer** できます。仲介団体および各企業・団体のホームページなどで情報収集を行うことが可能です。キャリア・オフィスにも一部情報があります。海外でのインターンシップは、ビザ・保険などの準備の関係から、かなり早い時期からの準備が必要です。

### 学生の声

Student Comment



インターンシップ先：  
アール・ケー・ビー毎日放送㈱  
藤井 崇央さん（APM 4回生）  
Takahiro Fujii

8月6日～17日の2週間、福岡のRKB毎日放送ヘインターンシップに行ってきました。バラエティや報道など様々な部署で撮影や取材に同行させて

いただきました、たくさんの貴重な経験ができました。

テレビ局の仕事は想像以上のハードさで、正直はじめは驚きました。なるべく7時間は睡眠時間を取るようになるなど、自己管理をして貴重な2週間を無駄にしないように心がけていました。

インターンシップはアルバイトとは違い、マニュアル化された業務に基づく一定の成果を求められるものではありません。だからこそ常に考え、質問し、メモを取り、帰宅後にはその日のメモと自分の一日の行動を整理しました。そうしているうちに自分の視野の狭さや次に質問すべきこと、やらなければいけないことが見えてきました。特に心に残っているのは報道部で聞いた「社員である前に記者であれ」という言葉です。

インターンシップ中は質問を心がけました。「君、よくそんなに質問があるなあ」と呆れられた程でしたが、今聞かないともう聞けないので、どんどん質問しました。毎朝早めに出社し、社員の方々がどんな仕事をしているのかも観察しました。テレビ局の仕事では、大学ではわからない多くのことを学ぶことができました。

この貴重な機会にチャレンジできたのも父母の会の皆様のお陰です。インターンシップ中の滞在費など、父母の会に支えていただかないと、やっていくことができませんでした。何かをしようと思った時に躊躇せずにできるのは、APU生としてすごく恵まれていることだと思います。ありがとうございます。

### 2006年夏 主な協定型インターンシップ派遣実績

- |                     |                       |                     |                         |
|---------------------|-----------------------|---------------------|-------------------------|
| ■ アール・ケー・ビー毎日放送㈱    | ■ カオハガン・アイランド・クラブ・インク | ■ JICA九州国際センター      | ■ 日本国際連合協会東京都本部         |
| ■ 旭化成㈱福岡支社          | ■ 韓国貿易センター（福岡）        | ■ 生協ひろしま            | ■ 熱帯農林技術開発協会            |
| ■ アデコ㈱              | ■ 清本鐵工㈱               | ■ 全日本空輸㈱            | ■ 福岡市総務企画局国際部（福岡アジア文化賞） |
| ■ ㈱NTT西日本・中九州大分事業部  | ■ 経済産業省九州経済産業局        | ■ （社）太陽の家           | ■ ㈱富士通九州システムエンジニアリング    |
| ■ おおいたインフォメーションハウス㈱ | ■ 国際観光振興機構            | ■ ㈱ツーリズム・マーケティング研究所 | ■ 別府市役所                 |
| ■ ㈱大分銀行             | ■ コクヨ九州販売㈱            | ■ ㈱TOSエンタープライズ      | ■ ㈱ホテル金水苑               |
| ■ 大分県庁              | ■ ㈱シー・エス・エル           | ■ ㈱トキハ              | ■ ㈱ホテル日航福岡              |
| ■ 大分航空ターミナル㈱        | ■ JETRO（本部・トロントセンター）  | ■ 中津市役所             | ■ マキノジェイ㈱               |
| ■ 大分全日空ホテルオアシスタワー   | ■ JETRO大分貿易情報センター     | ■ 飯田市役所             | ■ ㈱やすや                  |
| ■ 大分みらい信用金庫         | ■ ㈱滋賀銀行               | ■ 日本軽金属㈱            | ■ 行橋市役所                 |



## 就職活動体験談



内定先▶(株)日本航空インターナショナル

**三嶋 絵里さん** (APS 4回生)

Eri Mishima

高校時代から客室乗務員に憧れ、APUでは観光のゼミに入り、ホスピタリティを学んでいました。就職活動を意識したのは3回生の12月頃からで、もう少し早く始めておいても良かったなという気もしています。ホスピタリティ産業を中心に10社ほど受けたところで希望の内定をいただきました。

就職対策としては一般的なSPIはもちろんですが、職業柄、観光地理や専門知識も勉強して、客室乗務員の専門学校にも1年通いました。でも、英語に関しては留学や特別な勉強をしていません。学生生活の中で、日々国際学生と接しているうちに自然と身に付きました。APUで小さな国際社会を体験できたお陰で、英語の面接でも落ち着いて対応できましたし、自分自身の成長にもつながったと思います。

面接で「人間関係でのトラブルとその乗り越え方」を尋ねられた時、私の茶道部での活動を話しました。茶道部では、国際学生が入部しても馴染めずに退部するという問題を抱えており、その解決に向けて行動を起こしたのです。日本人だけで「簡単だから」と準備や片付けをしていたために、国際学生がお客扱いになっていたことに気づき、一緒にするようにしました。また、日本人には常識のようなこともプリントにして渡すと、国際学生にとっては活動内容がわかって入部しやすくなり、今では部員の約半数が国際学生です。このような工夫の積み重ねはAPUでは日常ですが、今思うと異文化交流の大切なステップです。そのような活動が評価され、就職活動の成功にもつながったのかも知れません。

父母の会からTOEIC®やTOEFL®の試験の費用を補助していただき、英語力の向上に役立てました。本当にありがとうございました。

内定先▶(株)JT九州

**疋田 卓也さん** (APS 4回生)

Takuya Hikida

学部がAPSで、将来の職業選択を考えたときに観光が浮かびました。そして本当に観光を職業としたいのか、自分の意志を確認する意味で、2回生で「旅行業務取扱主任者試験」を受験し、合格。進路は決めかねていたものの、3回生ゼミでは観光分野に進み、別府の長期滞在型観光を調査していました。

英語は、高校で得意科目だったものの、APUに入学してみて、レベルアップが必要なことを痛感。1回生の夏に毎日独学して英語力をつけました。その後、アメリカ出身の学生2名と1年半ルームシェアしたこともあり、英語には困らない程度になりました。

ルームシェアで学んだことは、自分の中の「非日常」に気づく、ということです。ゼミの研究でも、自分が慣れ親しんだ地域を見つめなおす視点を学びました。今あるものを活かしてビジネスを創造することに魅力を感じました。

就職活動は九州に絞りましたが、企業・業界にこだわると、選択肢が少ない上に採用数も大都市圏に比べ押さえられているため、なかなか狭き門です。私の志望企業の中には今年度の採用がない会社もありました。視野を広げて、自社の商品にプライドを持っている会社や、自分が携わることで人にNextを与えられる業種を持つ会社を選んで応募しました。なかでも、観光は関連分野が広く、色々な産業と密接なつながりがあることに関心を持ちました。また、九州の採用スケジュールは大都市圏に比べると遅くスタートします。

応募した企業は様々ですが、説明会へ出席したのは40社程度。それから約20社にエントリーし、うち10社を自分の意志で選んで次の段階に進みました。面接で、他に受けている会社の業種がバラバラだと、志望度合いを疑問に思われることもありましたが、自分の就職活動の軸を明確に説明でき、それに合致する企業を選んで受けていると伝えたと理解も得られました。

グループディスカッションは多くの企業の選考過程で用いられていますが、APUの学生なら日常の授業で経験していることです。他の多くのAPU学生も、グループディスカッション形式の選考は難無く通過していたと思います。

最後になりましたが、父母の会からSPI模試や立命館大学CA懇談会の支援をいただきました。本当にありがとうございました。





## 海外学習プログラム

### APUから世界へ

APUでは、実践的な英語運用能力を備え、国際社会で活躍できる人材を育成する「Student Mobilityの推進」に取り組んでおり、在学中の海外学習を推奨しています。「Student Mobility」とは、学生がひとつのキャンパスにとどまることなく、国や地域を越えて学習を行うことにより、国際社会のリーダーに不可欠な言語能力、専門能力の育成や人間的成長を促そうというものです。右に、APUの留学制度の枠組みを紹介します。

## 留学の種類

APUでは世界に広がるネットワークを生かした、多彩な海外学習プログラムを開発しています。学生のレベルに応じて長期・短期の各種プログラムを用意しています。

長期留学	短期留学
① 共同学位プログラム(2年) ② 交換留学(1年もしくは1セメスター) ③ その他の留学形態(セメスター単位) ・個別合意に基づく留学…協定校以外への留学 ・休学による海外渡航	④ 交換留学(1クォーター) ⑤ 英語・アジア太平洋言語イマージョンプログラム(夏期・春期休暇中／1ヵ月程度) ⑥ 海外研修プログラム ・テーマベース型プログラム ・フィールドスタディ

※カッコ内は留学期間 ※⑤英語・アジア太平洋言語イマージョンプログラム、⑥海外研修プログラムは、3～4ページを参照。

## 各プログラムの詳細

### 01 共同学位プログラム

日本と韓国の大学で学び、  
最短4年間で両大学の学士を取得

【概要】最短4年間でAPUと派遣先の慶熙大学(韓国)の学位を取得できる教育プログラム。APUにおける教育の国際化の一層の展開と特色あるプログラムによる教学高度化を図るために、2007年度より実施。

【経費】学費は両大学間で相殺されるため、派遣学生は2年間の留学時の固定学費(授業料A)と、慶熙大学での修得単位の認定料をAPUに対してのみ支払う。

【応募資格】出願時1回生

【募集人数】2名以内

【単位認定】APU学生はAPUで1年間学び、2年間交換留学学生として慶熙大学で学び、その後、APUに戻って60単位を上限に単位認定を行い、最後の1年間はAPUで学ぶ。

※1回生(最低33単位以上)＋慶熙大学の単位(最大60単位)＋残りの単位＝要卒124単位(卒業に必要な単位数)

【派遣先学部】国際関係学部、政治経済学部、経営学部、社会学部、観光学部のいずれか。国際関係学部は全科目を英語で開講しているが、その他の学部派遣に際しては英語開講が1割程度であるため、韓国語能力が必要。

【宿舎】慶熙大学の大学寮に入寮し、費用は入居する学生負担。

#### >> 慶熙大学概要

慶熙大学は、1949年創立の韓国の名門総合私立大学。首都ソウルの東北部に位置し、約30万坪のソウルキャンパス、約60万坪のスウォンキャンパス、韓国一大自然の中にある光陵キャンパスの3キャンパスで構成されます。世界56か国303大学と姉妹校協定を結んでおり、大学内の留学生受入れに関する大きな特徴として、「トウミ制度」という、慶熙大学および大学院に在学中の学生が外国人留学生と1対1で韓国語学習と生活の手助けをする制度があり、現地学生との触れ合いを多く持つ環境が整っています。

### 02 交換留学(1年もしくは1セメスター)

海外の大学で専門分野を学びたい学生に

【概要】APUと学生交換協定を締結している大学に1セメスターもしくは1学年の間、留学する制度。交換留学にはAPUが海外大学と個別に締結した学生交換協定に基づく一般枠とISEP枠とがある。派遣先の大学で、現地学生とともに各自の専門分野のカリキュラムを受講するため、専門分野における基礎学力と高い外国語運用能力が必要。また、異文化社会に適応できる柔軟性と自立した精神力が求められる。

○一般枠：世界33か国・地域／77大学(2006年12月現在)

○ISEP枠(2007年度秋セメスターから派遣開始)：

アメリカ合衆国の大学／135校(2006年12月現在)

※APUのISEP加盟により、留学先の選択肢が大幅に増えました。TOEFL®500点程度から留学可能な大学も含まれています。

【経費】本学に学費を納入することで派遣先大学への授業料は納入不要。渡航費・滞在費その他必要な経費は自己負担。また、帰国後に単位認定を希望する場合は、単位認定料(認定年度の授業料Bに基づく)が別途必要。ISEP枠の場合は、授業料に加え、宿舍費、食費も派遣先大学との相互免除。学費以外のISEP参加料、保険料、渡航費、ビザ申請手続き費用、生活費、大学附属機関における語学研修料、その他の個人的な活動に関わる費用などは自己負担。

【応募資格】○成績：GPA2.0以上(派遣先により異なる)

※ISEP枠は3.0以上

○語学力：英語圏への留学はTOEFL®550点以上必要

※ISEP枠は、500点程度から出願可能な大学も有

【募集人数】各大学若干名 ※ISEP枠は5名以内

#### 留学期間の目安(1年間の場合)

出発セメスター	国・地域名	留学期間
春セメスター	オセアニア	2・3月～10月
	韓国・インドネシア	2月～12月
	中国(香港を除く)・台湾	3月～翌年1月
	南米	5月～12月
秋セメスター	北米・メキシコ	8月中・下旬～翌年5月
	香港	9月～翌年5月
	欧州・南米	8・9月～翌年6・7月

#### 交換留学出願の流れ

(出発の1年前から準備開始。ISEP枠は秋出発のみ)

流れ	春出発	秋出発
募集説明会・海外学習フェア	4月	10月
1次審査書類提出 (志望理由書・言語能力・GPAなど)	4～5月	10～11月
面接(一次選考通過者のみ)	6月	11月
内定	6月	12月
派遣先大学へ書類提出	10～1月	3～7月 ※ISEPは2月
派遣先大学からの入学許可	書類提出後1ヶ月程度	
本人によるビザ・航空券手配	入学許可入手次第	
出発	1～3月	8～10月

【宿舎】主に派遣先大学の学生寮だが、派遣先大学の紹介によるホームステイやアパートに滞在する場合もある。

【帰国後の単位認定方法(時期・提出書類)】留学を含む他大学で取得した単位は、APUの単位で60単位を上限として認定を行います。単位数の換算方法は、多国間における大学単位互換方法を定めたガイドライン(UCTS)によることを基本としています。したがって現地大学の単位数が必ずしもAPUと同一単位数とは限りません。留学先の正規課程において修得した科目のうち、本人からの申請に基づき、審査の上、認定を行います。認定後に、認定した単位数分の単位認定料(認定年度の授業料Bに基づく)を徴収します。APUの開講科目と全く関連性の無いもの(体育、芸術等)の単位認定は行っていません。

#### >> ISEP概要

ISEPは1979年に創設された高等教育機関間の国際交流促進を目的とする北米のNPOで、ワシントンD.C.にその本拠を置いています。ISEPには全世界で37か国260校が参加しており、全世界で現在までに26,000人の学生が参加しています。

### 03 その他の留学形態(セメスター単位)

・個別合意に基づく留学…協定校以外への留学  
・休学による海外渡航

#### >> 個別合意に基づく留学

個別合意に基づく留学とは、本学学生が諸外国の大学に入学が許可された場合、本人の申請(遅くとも出発4ヶ月前までにアカデミック・アウトリーチ・オフィスへ申請)に基づいて、本学が留学と認定した場合を言います。あくまで正規課程に入学する場合であって、大学附属の英語集中コース(ELIなど)では適用されません。派遣期間は1年を上限とし、学籍上の取り扱い・単位認定などについては交換留学の場合と同じです。一方、経費については全て自己負担となり、学費は本学と留学先大学の両方へ納入しなければなりません。留学の申し込み、渡航先の情報収集、本学に留学と認められるために必要な提出書類の準備など、全て本人が行う必要があります。

#### >> 休学による海外渡航

休学をして海外へ行き、語学研修などを行う場合は、たとえ留学先で単位を取得しても、本学の単位としては認定されません。ただし、言語教育科目の履修免除申請は可能です。休学はセメスター単位で許可され、最大4セメスターまで延長できます。その期間中は学費免除となりますが、1セメスターあたり5,000円(2006年度実績)の在籍料を納入する必要があります。

### 04 交換留学(1クォーター)

短期間集中型の留学を希望する学生に

【概要】コペンハーゲンビジネススクール(デンマーク)、香港中文大学(香港)、シンガポールマネジメント大学(シンガポール)との1クォーター(約2ヵ月)の短期交換留学プログラムで、主にビジネス関係のコースを多く開講。

【経費】本学に学費を納入することで派遣先大学への授業料は納入不要。渡航費・滞在費、その他の必要な経費は自己負担。

【応募資格】語学力：TOEFL®550点以上必要。コペンハーゲンビジネススクールのみTOEFL®570点以上。

【募集時期】12月頃

【宿舎】主に派遣先大学の学生寮に滞在

【帰国後の単位認定方法】交換留学(長期)と同じ



## 交換留学協定校一覧

(過去数年で募集実績のある大学、および今後派遣予定の大学。応募条件などは派遣先の都合により、変更になることがあります。)

	国・地域名	交換留学協定校	開講言語 ※
アジア	中国	東北財経大学	中国語
		香港中文大学	英語/中国語
		香港城市大学	英語
		香港科技大学	
		Institute for Tourism Studies	
	韓国	高麗大学	韓国語 (英語)
		慶熙大学	
		漢陽大学	
		釜山国立大学	
		淑明女子大学	
		蔚山大学	
		東西大学	韓国語 (英語/日本語)
		梨花女子大学	英語/韓国語
		延世大学	
	インドネシア	Gadjah Mada University	インドネシア語/英語
	インド	EMPI University	英語
	マレーシア	University of Malaya	英語/マレー語
		Universiti Sains Malaysia	
	モンゴル	Academy of Management	英語
	フィリピン	Ateneo De Manila University	
	シンガポール	Singapore Management University	
	台湾	国立政治大学	中国語
		国立台湾師範大学	
		東海大学	
		南台科技大学	
	タイ	Thammasat University	英語
ヨーロッパ	オーストリア	Steyr School of Management	
		University of Applied Sciences bfi Vienna	
	ベルギー	University of Liege (Management School)	
	デンマーク	Copenhagen Business School	
		Copenhagen University	
		Aarhus School of Business	
	フィンランド	Laurea Polytechnic	
		Pirkanmaa Polytechnic	
	フランス	Group Ecole Supérieur de Commerce (ESC) Rouen	
		Institut Supérieur du Commerce (ISC), Paris	
		ESCI	
	ドイツ	Otto-von-Guericke-Universität Magdeburg	
	ハンガリー	University of Pécs (Faculty of Adult Education and Human Resources Development)	
	アイスランド	University of Iceland	

	国・地域名	交換留学協定校	開講言語 ※
ヨーロッパ	リトアニア	Vilnius University	英語
	オランダ	Leiden University	
		Tilburg University	
	ノルウェー	University of Bergen	
		BI Norwegian School of Management	
	ポーランド	Warsaw School of Economics	スペイン語
	スペイン	University of Santiago de Compostela	
	スウェーデン	Lund University (Department of Business Administration)	英語
		Södertörns Högskola University	
		Jönköping International Business School	
		Växjö University	
	スイス	School of Management, Zurich University of Applied Sciences	
		University of Westminister	
	イギリス	Westminster Business School	
		University of Kent	
		University of British Columbia	
	カナダ	Simon Fraser University (Faculty of Business Administration)	
		University of Lethbridge (Faculty of Management)	
		York University (Schulich School of Business)	
		University of Waterloo	
北米	アメリカ	American University	英語およびスペイン語
		Chapman University	
		Minnesota State University Moorhead	
		Rutgers, The State University of New Jersey	
		University of Hawaii	
		University of Montana	
		University of Oklahoma	
		University of Wisconsin Oshkosh	
		University of Wyoming	
	メキシコ	Tec de Monterrey	
	南米	Universidad Argentina de la Empresa (UADE)	
		Universidad Del Pacifico	
	オセアニア	La Trobe University	英語
		Macquarie University	
		Charles Sturt University	
		James Cook University	
	サモア	National University of Samoa	

※ ( ) の言語は一部科目のみ開講

### ◎安全対策について

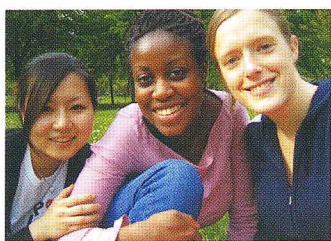
APUでは海外学習参加者の安全確保を重視し、参加学生には、派遣前に危機管理に関するオリエンテーションを行っています。また、大学のプログラムを通じて派遣する学生には、全員にAPU指定の海外旅行保険への加入を義務付けています。

万が一、派遣先の状況により、学生の安全が確保できないと判断された場合は、海外学習プログラムの中止の措置を取る場合もあります。



父母の会の「国際交流支援」は、本年度から始まった「グローバル・アクティブ・ラーニング（現地参加型学習プログラム）」に参加する会員子女への支援（3～4ページで紹介）に加え、次の支援を行いました。

- 交換留学支援：交換留学生として派遣される会員子女へ奨学金を支給
  - 長期派遣支援：大学が実施する1セメスター以上の海外学習プログラム（立命館・UBCジョイント・プログラム）に参加する会員子女へ奨学金を支給
- 奨学金を受給した学生の皆さんから、父母の会へ届いたお礼状の一部を紹介します。



辻 尚子  
(APS 4回生)

ウェストミンスター大学  
(イギリス)

この度は奨学生に採用いただき、誠にありがとうございます。

大学はロンドンの中心にあり、イギリス国内以外からも様々な国からの学生が勉強しています。私はAPUでの専攻に引き続き、観光学部で勉強しており、政策およびビジネスの観点から観光を学んでいます。日本とはまた少し違った視点も発見でき、とてもいい勉強になっています。初めは課題やディスカッションなどで、クラスメイトの話すスピードについて行くのに精一杯で大変な思いもいましたが、友達に助けられながら何とか授業にもついて行けるようになりました。

私の住んでいる寮には世界各国からの学生が住んでおり、週末や休みの日は、彼らと一緒に出かけしています。

空いた時間を利用してOxfamというチャリティーショップでボランティアワークをしながら、地域の人々と交流する時間も楽しみの一つです。

憧れだったロンドンでの留学生活は楽しいことの他にも辛いこと、大変なこともたくさんありましたが、一つひとつが自分の糧になりこれからの力になると信じています。約3ヵ月半の夏休みには、インターンシップのほか、卒論テーマであるインバウンドツーリズムの研究・フィールドワークをイギリス国内そして欧州内の他国にて行おうと考えています。

このような貴重な経験の機会を与えてくださったAPUと父母の会の皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

後藤 祐介  
(APM 2回生)

ウィスコンシン大学・オシュコシュ校  
(アメリカ)

ここでは、APU同様、マネジメントを専攻しており、日々勉学に励んでおります。講義は留学前の想像を遥かに超えて難しく、日夜英語との苦闘の日々を送っています。食事をするのに、友達と何気ない話をするのにも一苦労です。しかし、このような経験も、奨学金による支援を受け留学することができたからだと思い、大変感謝しております。

英語と苦闘しながらも、ここでの生活にも少しずつ慣れ、週に数時間ほどではありますが自分の自由な時間が持てるようになりました。気がつけばアメリカに来て既に2ヵ月が過ぎようとしています。残された留学期間、この生活で色々なことにチャレンジし、自分の視野を広げたいと思っています。

留学を通してAPUの良い点、また改善すべき点などが見え、柔軟かつ客観的な考えが持てるようになったと感じています。APUの友達と離れて、今は友達の偉大さを感じずにはいられません。これも留学したからこそ分かる貴重な体験だと思っています。一年後、ここでの生活に悔いを残さないように、またAPUで日々勉学に励む友達に負けないように、私自身もこのまま最大限の努力を続けるつもりです。



久保 千芳  
(APS 2回生)

立命館・UBCジョイントプログラム  
(カナダ)

カナダのバンクーバーにあるブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)に来て早くも3ヵ月が過ぎようとしています。学習面では私の興味をかきたてるような、APUに帰ってからも続けていこうと思える分野と出会うことができ、次のセメスターでの新たな目標もできました。

生活面においては寮のフロアメイト、またその友達と早い時期から仲良くなることができました。彼らと徐々に打ち解けていくにつれ、国際学生が多いAPUでの生活がどれだけ今の私に良い影響を与えているのかを確認することができました。

また、私は運動のためにバレーボールのクラブに所属し、週に1回チームメイトと汗を流しています。私のチームメイトは様々な国籍が集まっています。英語が上手く話せないためにもどかしく思うこともよくありますが、留学した目的を忘れず、精一杯の努力するつもりです。

そして最後に、私がこうやって充実した日々を送ることができるのは、奨学金を頂くことができたお陰であると大変感謝しています。本当にありがとうございました。

梶井 ひかり  
(APM 3回生)

国立政治大学  
(台湾)

今、私は1セメスターの交換留学生として派遣されています。ここでの生活も、もう3ヵ月が過ぎました。毎日、授業にサークル、言語交換にと充実した日々を過ごしています。

他の国からの留学生との交流もあり、APUを懐かしく思います。ここでの生活をしていく中で、言語の壁もありますが、文化の違いに多く触れる機会があります。その時、やはりAPUで生活する中で触れた異文化交流がここで生かされていると感じています。また、APUの台湾の友達も私のことをいつも温かく見守ってくれ、帰国したらその友達と中国語で話せるのを楽しみにしています。ここで生活しながら、APU生としての誇りを感じています。

奨学金を頂き、このように有意義に毎日過ごさせてもらい、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。残りの2ヵ月あまり、もっとより良いものになるよう、APU生としての誇りを忘れず、日々、自分自身に喝を入れて自分の納得のいくものにしたいと思っています。





国内学生を対象とした以下の奨学金は、チューデントアドバイザー・オフィスが担当しています。  
出願資格の詳細や応募書類については、担当オフィスへご確認ください。

## 1 日本学生支援機構奨学金 (旧日本育英会) (貸与)

### 第一種 (無利子)

**出願資格**▶国内学生 (在留資格が「永住者」「永住者の配偶者」も含む。また、学業成績および家計基準を満たしていることが必要)  
**貸与月額 (2006年度)**▶自宅通学者54,000円 自宅外通学者64,000円  
**貸与期間**▶貸与開始月から卒業するまでの最短修業年限  
**募集時期**▶毎年4月

### 第二種 (有利子:在学期間中は無利子。貸与利率は上限3%)

**出願資格**▶国内学生 (在留資格が「永住者」「永住者の配偶者」も含む。また、学業成績および家計基準を満たしていることが必要)  
**貸与月額**▶3万円・5万円・8万円・10万円の四種類から選択  
**貸与期間**▶貸与開始月から卒業するまでの最短修業年限  
**募集時期**▶毎年4月

### ※緊急・応急採用

第一種・第二種ともに、家計急変や災害被災等で学資に困ったときに、随時出願を受け付ける制度があります。希望する場合はチューデントアドバイザー・オフィスへご相談ください。

## 2 奨励奨学金制度 (いずれも給付)

### ① 安藤百福名誉博士奨学金

**対象**▶学部2回生および3回生で、次の基準を全て満たしている者  
①学業成績優秀者、②自主活動で顕著な成績を修めた者  
**給付金額**▶25万円  
**採用人数**▶8名以内 (2回生4名以内・3回生4名以内)

### ② 安藤百福名誉博士栄誉賞

**対象**▶学部卒業予定者で、成績優秀であり、自主的活動などにおいて顕著な成果を修めた者、また将来においても意欲的な進路の目標を掲げ、アジア太平洋地域で大きな貢献を果たすことが期待される学生  
**給付金額**▶上限100万円  
**選考時期**▶卒業時  
**採用人数**▶各卒業時期に1名以内

### ③ 優秀学生奨励金\*

**対象**▶第2～第7セメスター修了時、各学部において、各入学年度およびセメスター期を対象グループとし (例:2004年度春セメスター入学者グループ、2004年度秋セメスター入学者グループ)、各グループ内でのGPA (学業成績) が上位1位の者。かつ、各グループでの平均修得単位数を満たしている者  
**給付金額**▶1名につき10万円  
**採用人数**▶各入学セメスター期につき各学部1名

### ④ 自主活動奨励金

**対象**▶自主的活動において顕著な成果を修め、かつ今後さらに高い目標を掲げ、その達成が期待される個人または団体  
**給付金額**▶上限10万円  
**採用人数**▶毎年度10名 (団体) 以内  
**応募時期**▶毎年度11月

### ⑤ レジデント・アシスタント奨学金\*

**対象**▶APハウスのレジデント・アシスタントに任命された者  
**給付金額**▶月額1万円  
**給付期間**▶レジデント・アシスタント任期期間  
**採用人数**▶レジデント・アシスタントに任命された者全員

\* 2007年度より新制度に変更予定です。詳細が決定次第、学生にはキャンパスターミナルなどでお知らせします。

## 3 生活援助を目的とした奨学金制度

### ① 緊急授業料支援金 (減免)

**対象**▶内閣総理大臣による「非常災害対策本部」が設置された災害によって家計が急変し、修学に著しい支障が生じた者、または生じる恐れがある者で、その事情が生じたときから1年以内の者  
**募集時期**▶授業料納入時  
**給付金額**▶年額25万円を上限として、該当する授業料を減免

### ② 生活援助金 (貸与)

**対象**▶仕送りの遅れなど、不測の事態によって緊急に援助を必要とする者  
**貸与金額**▶上限2万円  
**貸与期間**▶3か月以内 (無利子)

## 4 APU-Club・国内学生父母の会 (いずれも給付)

### ① 修学援助奨学金

**応募資格**▶「APU-Club・国内学生父母の会」会員である主たる家計支持者の死亡や失職等による『家計急変』により、修学を継続することが困難となった学生  
**給付金額**▶上限50万円  
**応募時期**▶毎年度5月・11月に対象家計急変期間に該当する者が応募し、選考を経て給付者を決定  
**備考**▶受給後の再出願は不可

### ② 弔慰金

**給付対象**▶以下のいずれかに該当すること  
①死亡者が「APU-Club・国内学生父母の会」会員である父母または保証人  
②死亡者が本学に在籍している「APU-Club・国内学生父母の会」会員の子女  
**給付金額**▶①の場合は上限5万円、②の場合は上限7万円  
**申請期間**▶給付対象者が死亡した日から3か月以内  
**備考**▶死亡者の会員子女が複数APUに在籍する場合、申請する会員子女は1名のみ

### ③ 自主活動表彰

**応募資格**▶各分野において全国レベルでの顕著な成果を修めた団体・個人  
**給付金額**▶上限20万円  
**応募時期**▶毎年度11月。選考を経て表彰者を決定

## 5 地方公共団体奨学金

日本国の都道府県および市町村の多くが、それぞれの地域に居住する者の子弟もしくは出身の学生に対し、独自の奨学金制度を設けています (貸与・給付など制度や応募資格は各自治体で異なります)。これらの団体の募集要項は、APUに募集依頼があり次第、キャンパスターミナルや掲示板で告知します。また、APUへ募集依頼が来ない場合もありますので、該当の都道府県・市町村の教育委員会へ直接問い合わせ、各自出願してください。

**APUに届いている要項 (平成18年度募集実績)**▶岡山県・愛媛県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県・豊田市・東大阪市・北九州市・大野城市・熊本市

## 6 民間奨学財団による奨学金

優秀な人材の育成をはかり、社会の発展と福祉に寄与することを目的とした民間団体による奨学金制度があります。これらの募集要項は、各団体から本学へ募集依頼があり次第、キャンパスターミナルや掲示板で告知します。



この度は父母の会の修学援助奨学金に採用していただき、本当にありがとうございました。

父を突然亡くした当初は、毎日が慌しく過ぎて父がいないことが信じられませんでした。しかし、徐々に様々な感情が込みあげて、とても苦しい時期もありました。また、学校を続けるには母の負担が大きすぎ、少しでもその負担を軽くしたい気持ちで、学校生活とアルバイトのどちらを重視したらいいのか悩んだ日々もありました。

もし、この奨学金をいただけていなかったら、私はAPUを離れなければならなかったと強く感じます。

今は家族や知人、そしてAPUで出会った大切な仲間の大きな支えのおかげで少しずつですが前に向かって歩いています。父はよく私に、可能性は無限大だから、やりたいことは積極的にやるよう勧めてくれました。その父の教えのもと、残りの大学生活を有意義なものにしたいと考えております。

父母の会の皆様には感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

(APM 2回生)

この度は修学援助奨学金に採用していただき心からお礼申し上げます。

心から望んで入学したAPUの生活にも慣れてきて、毎日勉強とサークル、国際交流と楽しい時間を過ごし、充実した時を過ごしてきました。しかし、とうとう父の元々悪かった心臓が悪化し、働けるような体ではなくなってしまいました。父の現在の状況や、いつも家族を父と一緒に支えてくれる母の心労などを考えて、退学も考えましたが、やはり日本でAPUにしかない、APUだからできる教育を受けたく、今諦めることはどうしてもできませんでした。家計上退学せざるを得ない厳しい状況の中、こうして奨学金のお陰で修学を継続させていただけることに深く感謝しています。

両親をはじめ、支援してくださった父母の会の皆様に感謝をして、APU生でいられることを誇りに思い、これからの大学生活に一生懸命取り組んでいこうと思います。

(APS 2回生)

この度は修学援助奨学金を支給していただき誠にありがとうございました。父を亡くして4ヵ月が経とうとしていますが、ようやく私や母も落ち着きを取り戻しつつあるなかで、今回の父母の会の皆様の温かいご支援、また父母の会の存在が私たち家族の支えとなっています。

APUで勉学に励むことは父の希望であり、私の希望でもありました。そのような大学でこれからも勉強できるようにしていただいた父母の会の皆様に父も大変感謝していることと思います。

正直言って、父が亡くなったことで、母一人に経済的な問題を負わせることが私にとって非常に苦痛でした。そのため、アルバイトの量を増やしたりしましたが、母の負担に比べれば微々たるものであり、決してその苦痛を拭い去ることはできませんでした。そのような中で、父母の会の皆様の温かいご好意が私の苦痛を和らげてくださったことは言うまでもありません。

今後も今まで以上に勉学に励み、APUに貢献をしていくような取り組みを行っていきたいと思っています。また、これから私のように修学が困難な状況に陥る学生に対しても、同様のご支援をしていただけるようお願いいたします。この度は本当にありがとうございました。

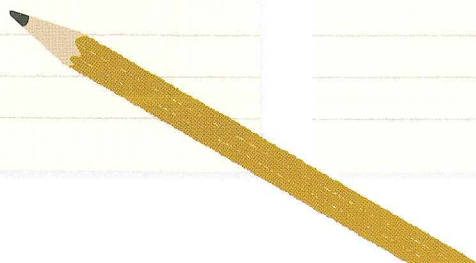
(APM 2回生)

修学援助奨学金に採用していただき本当にありがとうございます。

私は中学生の時から母子家庭で、母は他の家庭と変わりないようにと一生懸命に働き、私を大学まで通わせてくれました。元々、体が丈夫な方ではないのでとても気がかりでしたが、母は大丈夫と私に心配を掛けよう働いていました。しかし、とうとう体に支障が出てしまい、働くことができなくなりました。母にとっても大きな負担をかけていると思って退学を考えた時、母は少しずつでも仕事をまた始めるから、卒業まで残りわずかな大学生活を頑張りなさいと言ってくれました。もうすぐ就職活動が始まるので少しでも自分の希望の道へ進めるように努力して、大切な母に恩返しをしていきたいと思っています。

今回、支援してくださった皆様、本当にありがとうございました。これからもこのことを絶対に忘れずに皆様の期待にこたえられるように努力していきます。

(APM 3回生)





## アカデミック・オフィス関連

	Question	Answer
履修	● 成績 (GPA) の高い人から授業を優先登録した場合、成績の低い学生にとって、学習意欲の低下につながるのではないのでしょうか。	● APUでは、日常的に学習することを重視しており、授業も一方通行の講義ではなく、学生のプレゼンテーションやディスカッションを積極的に取り入れています。そのため、一つの授業の登録者数を最大でも250名に制限しています。 かつては、定員を超過した場合、抽選で受講者を決定していましたが、「運」により登録が決まること、抽選漏れになった場合は別の科目に登録することになり、最初の数回の授業に出席できなくなるなどから、現在の成績区分による先着順の登録に改めています。 優先登録ができるのは、通算または当該GPA2.6以上の学生です。2006年春セメスターの履修登録の場合、当該GPAが2.6を超えている学生の割合は全体の41.2%でした（学生全員の平均GPAは2.49）。少数の優秀層だけを優遇している措置ではないことをご理解いただきますと幸いです。 また、この成績による優先登録は、「入学以降の通算の成績」と、「直前のセメスターの成績」のいずれかで基準をクリアすれば権利が与えられます。つまり、これまで成績が芳しくなかった学生でも、直前の1セメスターのみを頑張れば、優先的に登録する権利を得ることができます。また、もともと成績が良い場合は、1セメスターだけ悪い成績をとっても次の履修登録に影響が出にくいようにしています。 このように、意欲ある学生を励まし、頑張った学生に幅広く報いる制度として機能していますので、父母の皆様にもご理解賜りたく存じます。
	● 父母の懇談会では、大学から学修について詳しい説明があるので満足しています。学生に対しても同様の説明がされているのでしょうか。	● 学生に対しては、履修科目の登録時期前に「履修科目登録ガイダンス」を実施したり、交換留学の募集時期前に「留学ガイダンス」を実施したりと、学修の節目に応じてガイダンスを実施しています。ホームページ上でも、履修や学生生活に関して常に情報を提供しており、ガイダンスに出席できなかったり、聞き逃したりした場合でも、基本的な情報はホームページから得ることができます。各オフィスの窓口でも相談に応じています。
	● 教職課程は、今後開設されますか。	● APUで教職課程を開設する予定はありません。しかし、2007年度入学者より、立命館大学の協力による「英語教員免許取得プログラム」が開設されます。これはAPUに在籍しながら立命館大学（京都）の教職課程科目を科目等履修生（オンデマンド受講等立命館大学への国内留学）として受講することにより、中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）の取得を目指すものです。 このプログラムは原則として2007年度以降の入学者が対象で、受講定員は20名となっており、入学後の選考に基づいて決定されます。
	● 立命館大学への留学制度について知りたい。	● 立命館大学への留学制度は2つの形態があります。 ①夏セッション留学・・・立命館大学で開講される夏期集中講義（1講義につき連続1週間）へ参加するもの。出願資格を満たした希望者の中から、受講定員がある科目については抽選で参加者を決定します。 立命館大学で履修する科目の授業料は、当該年度のAPUの春セメスター授業料B（単位授業料）として請求されます。募集時期は前年度の3月です。 ②セメスター留学・・・秋セメスターから半年、または春セメスターから1年間もしくは半年、立命館大学で学ぶもの。第4セメスター以上の学生で、成績などの書類審査および面接選考を経て参加者が決定します（最終セメスターに立命館大学への留学はできません）。派遣人数は派遣先学部は各5名以内、年間合計20名以内です。 学費はAPUの授業料Aと、立命館大学での受講登録単位数に応じた授業料Bの納付が必要です。立命館大学の学費は免除されます。募集時期は春派遣が前年10月頃、秋派遣が当年4月頃です。

## スチューデントサポート・センター関連

	Question	Answer
APハウス	● 入居の募集はいつ行われますか。何名入居できますか。	● 在学生は7月・1月に募集を行っています。2007年4月の募集は2007年1月に行う予定です（2007年4月入学の国際学生が例年より多くなる見込みである為、何名募集するか未定）。入居できる人数は、新入生数に応じて増減があるため、毎募集時に発表します。
	● 1回生の時にAPハウスに暮らしていました。再入居を希望する学生は、在学生対象の募集に申し込めますか。	● はい、申し込みます。 申し込みいただいた中より、選考の上、入居者を決定します。



## アカデミック・アウトリーチ・オフィス関連

Question	Answer
● 子供の語学力が伸びないので不安です。語学力が向上する講義や講座は開講されていますか。	● 2006年度入学者より英語の必修単位数を増やし、英語力の強化を図っています。24時間自学自習ができる英語のオンライン教材も導入していますので、授業以外の時間にも活用が可能です。 また、通常の英語開講科目よりも噛み砕いた英語で、かつ専門内容が学習できる、「シェルター科目」も開講されています。課外集中講座や夏セッション・冬セッション中に行なわれる短期の海外語学研修も提供していますので、学修の機会を積極的に利用してください。
● 「在学中に1度は海外へ」と聞きましたが、絶対に行かなければならないのですか。	● 海外学習は卒業要件ではありませんが、在学中に一度は海外学習へ参加するよう奨励しています。 APUでは、学びの基本要素として「知識」「経験」「交流」の3つが重要であると考えます。学生の成長を促すには、教室での授業に加えて、キャンパス外での「経験」や「交流」の機会を持つことが重要です。そこで、実践的学習や体験を重視したプログラム「グローバル・アクティブ・ラーニング（キャンパス外での能動的な学習）」を展開しています。海外留学や言語研修、インターンシップ（就業体験）やフィールドスタディ（現地調査）、ボランティアなどを通じて、言語能力や異文化理解を深めたり、調査・研究能力を向上させたりすることを目標としています。
● 留学の費用はいくら必要ですか。	● 交換留学の場合、学費はAPUの固定学費（授業料A）のみです。帰国後に留学先で取得した単位について、単位認定料が必要になります。生活費は、留学先の物価水準によって異なります。 学内で開催される「留学ガイダンス」では、交換留学協定校から派遣されている学生や、前年度に派遣されたAPU学生から、実際の生活体験談を聞くことができます。留学を考えている学生は、ぜひ参加してください。 その他、大学が派遣する短期の語学研修については、3～4ページをご覧ください。留学先によって、請求される費用はもちろん、費用に含まれる内容が異なりますので、留学先を選ぶ際に必ず確認してください。
● 短期や長期など、期間が異なる留学制度があるようだが、それぞれのメリット・デメリットを教えてほしい。	● まず、留学の目的によってその形態は大きく異なるため、留学先で何を学ぶのか、自分の目標を固める必要があります。大学が提供する短期プログラムは語学研修を主とした場合が多く、言語能力を高めたい学生に適しています。また、夏セッション（8・9月）や冬セッション（2・3月）に実施される場合、通常の授業へ影響を受けずに留学することができます。 一方、交換留学など長期のプログラムは、現地の学生と一緒に、派遣先大学の通常課程の授業を受けるものであり、言語学習というよりも、専門分野の学習を行う位置づけです。各大学の特色を調べ、自分が希望する専門分野に合致した派遣先を選ぶことが重要です。 留学の目的を明確にすることに加え、何回生から何ヵ月留学するのか、帰国後の就職活動など、自分の学生生活とその後の進路まで十分にスケジュールを立てた上で、留学プランを練ることも求められます。アカデミック・アウトリーチ・オフィス内にはプログラム別の資料コーナーを設けていますので、併せて利用してください。

## キャリア・オフィス関連

Question	Answer
● 留学に行くと、就職活動が遅れるのではないのでしょうか。	● 休学して留学する場合と、交換留学の場合では、セメスターの進行が異なります。また、現地の学年暦の関係で、いつ帰国できるかによっても就職対策が変わります。留学目的も語学研修・ワーキングホリデー・インターンシップ・専門科目の勉強など、学生によって異なるので、留学前にキャリアオフィスへ就職活動の進め方について相談に来てください。就職活動を意識した上で海外渡航するのと、帰国してから就職対策を始めるのでは、就職活動の成果に大きな差が生れます。
● 休学して欧米へ私費留学を考えています。就職活動の時期との重なりが心配です。	● 東京近辺での就職活動に関する宿泊先の斡旋をしています。詳細な情報についてはキャリア・オフィス窓口及びキャリア・オフィスのホームページにて紹介しています。
● 首都圏での就職活動時、寮は斡旋されますか。	● 多くの企業様から関心を寄せていただいております。全国からAPU宛にたくさんの求人をいただいております。また、APUと立命館大学は双方の求人票をお互いに共有しているため、非常に多くの求人票を学生に提供できております。京都と滋賀には立命館大学キャリアセンター、東京には東京オフィス、大阪には大阪オフィスがあり、APU以外でも就職相談に応じることができます。
● 地元の企業に就職させたいと考えていますが、APUに全国各地の企業の求人票が届いていますか？	



	Question	Answer
就職	● 地元で就職活動を行っています。就職活動のピークを過ぎましたが、まだ内定が出ません。	● 今年度は企業の採用意欲が旺盛で、まだチャンスはありますが、未内定の原因を分析することが必要です。一度、自分の就職活動について振り返った上で、これからの取り組み方、方針を考えていくと採用につながると考えられます。APUでは夏に4回生向けのガイダンスを開催しています。ぜひキャリア・オフィスへ相談に来てください。
	● 成績は就職活動に影響がありますか。単位が足りずに卒業できなかった場合、内定はどうなるのでしょうか。	● 必ずしも成績の良い学生が就職に有利とは限りません。採用・選考は人物重視で行われていますので、勉強や課外活動などでは日々の努力を怠らないように過ごし、学生時代に何をしたかということが非常に重要です。 内定は卒業を前提条件として企業から出されています。したがって卒業ができない場合は、同時に内定も取り消されるケースが大多数です。そのため、3回生終了までに計画的な単位修得を行う必要があります。特に、3回生終了時点で80単位以上修得できていない場合（春入学者の場合）、「卒業見込証明書」が発行されませんのでご注意ください。
	● 将来国際機関で働くことを希望しています。どうすれば就職できるのでしょうか。	● 大学で必要な知識を養うのはもちろん必要ですが、多くの国際機関は、学士学位に加え、修士学位を応募要件として求めています。また、それに加えて一定の実務経験を求められるケースも多くあります。どのような資格や実務経験を求められるのかは機関によって異なるため、希望する機関がどのような採用要件を提示しているのか調べて、それにあった学修やキャリアを積むことが必要です。
	● 秋入学・秋卒業者は就職に不利でしょうか。	● 秋卒業だから有利・不利ということはありません。もっとも大切なのは、自分がいつから働き始めるのか、そのためにはどのようなスケジュールで就職活動を進めるのか、事前に十分な準備を行うことです。 多くの秋卒業生の就職活動スケジュールは、半年後に入学した春入学の学生と同じ採用スケジュールで活動していきます。また、日本の多くの企業は入社を4月としています。一方で通年採用の広がりによって秋に採用を行う企業も増えています。分からないことがあれば、キャリア・オフィスへ相談してください。

## アドミニストレーション・オフィス関連

	Question	Answer
交通	● バスが混雑し、授業に遅れる場合があると聞いています。	● バスの便を2006年4月から大幅に増便しており、路線も増やしています。また、セメスター開始直後にバス会社が複数の主要停留所で実態調査を行い、混雑状況に応じてダイヤの変更や増便などの改善策を講じています。左記のケースが発生した場合は、アカデミック・オフィスもしくはシュチュUDENTサポート・センターまでご連絡ください。
	● 自動車通学はなぜ禁止されているのですか。	● 駐車スペースが確保できないこと、開学時に渋滞と事故の増加を危惧した近隣住民の方々より自粛申し入れがあったことの2つの理由から、病気などの特別な理由を除いて自動車通学は禁止としています。ご理解をお願いします。
学費	● 学費の請求スケジュールを教えてください。	● 会報の最後に「学年暦」と併せて2007年度学費請求スケジュールを掲載しております。また、毎年2月に次年度のスケジュールを学費請求先住所にお送りしていますので、併せてご確認ください。
	● 学費の納入方法について教えてください。	● 送付される納付書（振込用紙）を用いて、銀行窓口で納入してください。また、郵便局口座を利用した自動払込の方法があります。ご希望の方は、アドミニストレーション・オフィス学費担当者までご連絡ください（TEL:0977-78-1112）。
	● 納付書が届きません（納付書を紛失してしまったのですが）。	● それぞれの納付書の発送予定日については、学費請求スケジュールに記載しています。予定日をはるかに過ぎても納付書が届いていない場合は再発行いたしますので、アドミニストレーション・オフィスまでご連絡ください（TEL: 0977-78-1112）。 なお、学費請求先住所に変更があった場合は、必ずシュチュUDENTアドバイザー・オフィスに届け出てください。納付書を紛失してしまった場合は、アドミニストレーション・オフィスへご連絡ください。
	● 領収書は発行できますか。	● 基本的には発行していません。納付書の振込金受取書が控えとなります。郵便局自動引落をご利用の場合は、通帳にてご確認をお願いしていますが、やむを得ない事情がある場合はアドミニストレーション・オフィス学費担当者までご相談ください。



# 2007年度学年暦&学費納付スケジュール

<b>3</b> March	30日(金)▶春セメスター授業料A(固定学費)納付書送付予定日	
<b>4</b> April	1日(日)▶入学式 2日(月)▶オリエンテーション 11日(水)▶春セメスター開講日、春第1クォーター開始	15日(日)▶春セメスター授業料A(固定学費)納入期限(注1) 21日(土)▶補講日 30日(月)▶<振替休日>授業日
<b>5</b> May	3日(木)▶<憲法記念日>授業日 4日(金)▶<みどりの日>授業日 5日(土)▶<子どもの日>授業なし 12日(土)▶補講日	19日(土)▶学園創立記念日 26日(土)▶補講日 30日(水)▶春第1クォーター試験期間(5月31日まで)
<b>6</b> June	1日(金)▶試験予備日 4日(月)▶授業なし(6月5日まで)(注2) 6日(水)▶春第2クォーター開始	15日(金)▶春セメスター授業料B(単位料)・父母会費納付書送付予定日 23日(土)▶補講日 30日(土)▶春セメスター授業料B(単位料)・父母会費納入期限(注1)
<b>7</b> July	7日(土)▶補講日 16日(月)▶<海の日>授業日	21日(土)▶補講日 26日(木)▶春第2クォーター試験期間(8月1日まで)
<b>8</b> August	6日(月)▶夏セッション開始、夏セッションⅠ開講(8月10日まで) 20日(月)▶夏セッションⅡ開講(8月24日まで) 27日(月)▶夏セッションⅢ開講(8月31日まで)	
<b>9</b> September	5日(水)▶卒業合否発表 12日(水)▶春セメスター成績発表・履修科目登録ガイダンス 14日(金)▶卒業式 15日(土)▶秋セメスター授業料A(固定学費)納付書送付予定日 17日(月)▶<敬老の日>授業なし	20日(木)▶春セメスター終了 21日(金)▶入学式、秋セメスター開始、オリエンテーション 24日(月)▶<振替休日>授業なし 30日(日)▶秋セメスター授業料A(固定学費)納入期限(注1)
<b>10</b> October	1日(月)▶秋セメスター開講日、秋第1クォーター開始 8日(月)▶<体育の日>授業日	13日(土)▶補講日 20日(土)▶補講日
<b>11</b> November	3日(土)▶<文化の日>授業なし 10日(土)▶補講日 19日(月)▶秋第1クォーター試験期間(11月20日まで)	21日(水)▶試験予備日 22日(木)▶授業なし(11月23日まで)(注2) 26日(月)▶秋第2クォーター開始
<b>12</b> December	8日(土)▶補講日 10日(月)▶秋セメスター授業料B(単位料)・父母会費納付書送付予定日 22日(土)▶授業日(1月14日分の授業)	23日(日)▶<天皇誕生日>授業なし(1月6日まで) 31日(月)▶秋セメスター授業料B(単位料)・父母会費納入期限(注1)
<b>1</b> January	12日(土)▶補講日 14日(月)▶<成人の日>授業なし	19日(土)▶補講日 28日(月)▶秋第2クォーター試験期間(2月1日まで)
<b>2</b> February	4日(月)▶冬セッション開始、冬セッションⅠ開講(2月8日まで) 11日(月)▶<建国記念の日>授業日、冬セッションⅡ開講(2月15日まで)	18日(月)▶冬セッションⅢ開講(2月22日まで) 25日(月)▶冬セッションⅣ開講(2月29日まで)
<b>3</b> March	5日(水)▶卒業合否発表 14日(金)▶卒業式 20日(木)▶<春分の日>授業なし	24日(月)▶秋セメスター成績発表・履修科目登録ガイダンス 31日(月)▶秋セメスター終了

(注1) 納入期日が金融機関の休業日となる場合、納入期日は金融機関の翌営業日となります。(注2) 一部の科目は授業が行われる場合があります。該当する科目はシラバスに記載されます。  
(注3) このスケジュールは予定ですので変更される場合があります。予めご了承ください。

## APUのオフィス案内

<b>スチューデントアクティビティーズ・オフィス</b> <b>TEL 0977-78-1104/FAX 0977-78-1125</b> 正課外活動、イベントに関すること、APハウス(学生寮)、住居に関すること、地域交流活動、ホームステイ・ホームビジットに関すること	<b>スチューデントアドバイザー・オフィス</b> <b>TEL 0977-78-1124/FAX 0977-78-1125</b> 学籍、学費、奨学金、証明書に関すること、アルバイトに関すること、その他学生生活に関すること、ヘルスクリニックに関すること	<b>キャリア・オフィス</b> <b>TEL 0977-78-1128/FAX 0977-78-1129</b> 進路、就職、インターンシップ、エクステンション講座に関すること	<b>アカデミック・オフィス</b> <b>TEL 0977-78-1122/FAX 0977-78-1123</b> 履習・学修相談、カリキュラム、定期試験、学年暦、卒業式、休講・補講に関すること
<b>アカデミック・アウトリーチ・オフィス</b> <b>TEL 0977-78-1101/FAX 0977-78-1102</b> 留学、海外言語研修、言語教育、課外講座(TOEFL®・ITP、TOEIC®・IPの運営)に関すること	<b>メディアセンター</b> <b>TEL 0977-78-1140/FAX 0977-78-1141</b> APUライブラリー、学術情報、情報システムに関すること	<b>アドミニストレーション・オフィス</b> <b>TEL 0977-78-1112/FAX 0977-78-1109</b> 総務・財務全般、学費の納入方法に関すること	<b>ネットワーク・オフィス</b> <b>TEL 0977-78-1114/FAX 0977-78-1113</b> 国内学生父母の会直通番号:0977-78-1144 学内外の広報、APU-Club・国内学生父母の会、校友会に関すること
<b>リサーチ・オフィス</b> <b>TEL 0977-78-1134/FAX 0977-78-1135</b> 研究に関すること	<b>アドミッションズ・オフィス</b> <b>TEL 0977-78-1120/FAX 0977-78-1121</b> 国内外の入試に関すること	<b>ディベロップメント・オフィス</b> <b>TEL 0977-78-1107/FAX 0977-78-1113</b> 調査企画および業務開発に関すること	

## APU-Club・国内学生父母の会

〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1 <http://www.apu.ac.jp/>  
 TEL 0977-78-1144 FAX 0977-78-1113